

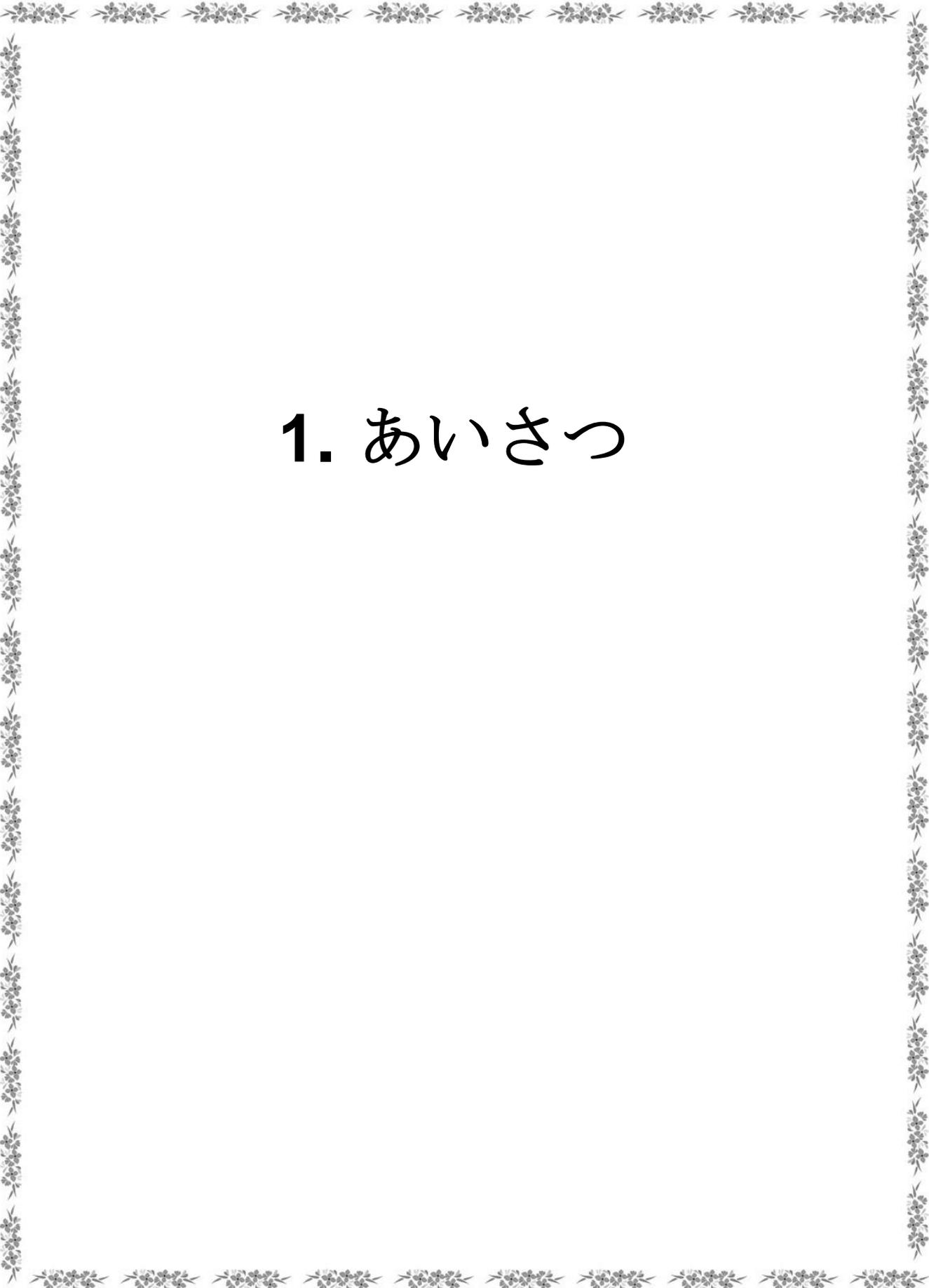
医療法人社団仁生会 甲南病院

2022 年度 病院年報



INDEX

1. あいさつ	2	リハビリテーション部	67
2. 病院概要	5	臨床工学部	72
仁生会理念 甲南病院の理念と基本方針	6	栄養管理部	73
仁生会 甲南病院 沿革	7	臨床心理士室	75
施設概要	10	7. 事務部門	77
指定・認定施設一覧	11	事務部	78
仁生会 職員数	13	総務人事課	79
組織図	14	医事課	80
活動報告	15	秘書課	81
3. 統計	19	健診センター（事務）	82
4. 診療部	24	診療情報管理室	83
内科（総合内科）	25	管理情報課	84
消化器内科	26	8. その他の部門	85
循環器科	27	医療安全管理部	86
心臓血管外科	28	地域医療連携部	88
脳神経内科	29	8. 併設施設	90
もの忘れ外来	30	在宅医療支援センターこうなん	91
脳神経外科	31	居宅介護支援事業所	92
腎臓内科	32	訪問看護ステーションこうなん	94
糖尿病・代謝内科	33	訪問リハビリテーション事業所	96
泌尿器科	34	9. 委員会	98
呼吸器科	35	医療安全委員会	99
外科	36	医療ガス安全管理委員会	101
乳腺外科	38	医療情報システム委員会	102
婦人科	39	医療の質業務改善委員会	103
整形外科	40	衛生委員会	104
形成外科	42	感染対策委員会	105
放射線科	43	研修委員会	108
麻酔科	44	広報委員会	109
血液浄化センター	45	褥瘡対策委員会	110
健診センター	46	診療記録管理委員会	111
訪問診療	47	パートナーシップ倫理委員会	112
5. 看護部・介護部	48	防災委員会	113
看護部	49	薬事委員会	114
介護部	53	輸血療法委員会	115
6. 診療技術部門	55	臨床検査適正化委員会	116
薬剤部	56	NST（栄養サポート）委員会	117
臨床検査部	60	認知症サポート委員会	118
放射線部	65	個人情報・プライバシー委員会	119



1. あいさつ



2022年度 仁生会 甲南病院年報に寄せて

医療法人社団仁生会 理事長 古倉 みのり

平素より皆様には大変お世話になり誠にありがとうございます。

2022年度の年報発刊にあたり一言ご挨拶をさせていただきます。

約3年という長い間、世界中の人々を混乱に陥れた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日をもって第5類感染症と位置付けられました。第9波到来が報道される中、医療機関としてはまだ油断はできませんが、人々の暮らしは平常を取り戻しつつあります。弊院におきましても面会規制を緩和し、患者さん、ご家族との交流を再開できましたことは大きな喜びでございます。2022年2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が開始されてからは、世界的なエネルギー価格の高騰や物価高騰があり、他業種と同様、医療業界においてもその運営はたやすいものではありません。特に医療機関は診療報酬、介護報酬という公定価格でのサービス提供であるため、物価高騰に伴う固定費増に目を光らせなければなりません。2022年度において忘れてはならないことは、7月8日の安倍晋三元首相襲撃事件です。あの衝撃の日から1年。日本が日本であり続けるために、子供や孫の時代においても安心して暮らせる日本であるために、どのように行動すべきかということを考え続けた1年でした。医療機関としてできることは、病気を治癒に導くこと、患者さんのお気持ちを少しでも前向きに、そして希望をもっていただけよう医療を提供すること、丁寧に説明すること、治らない病にあっても、少しでも心穏やかに過ごしていただけるようサポートさせていただくこと。職員に対しては、いかに自分が必要とされているか、人の役に立っているかということを知ってもらうこと。自分自身に誇りをもって社会貢献する職員が、周囲に及ぼす眩い効果を想像いたします。

「一隅を照らす」という理念に沿って、学習を怠らず、患者さんやご家族の人生にとって何が一番大切か、どうすれば少しでも幸せを感じていただけるかということチームで考え、仁生会職員の気持ちを一つにして今後も職務に励む所存でございます。人々の心に光を灯すことができますように、地域に光を灯すことができますように、私達は歩んで参ります。

皆様には、今後共ご指導、ご鞭撻賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

感謝の思いを込めて2022年度年報をお届けします。



年報の発刊によせて

医療法人社団仁生会 甲南病院 院長 神谷 純広

この度、2022年度の甲南病院の活動状況に関する年報を発刊させていただくことになりました。

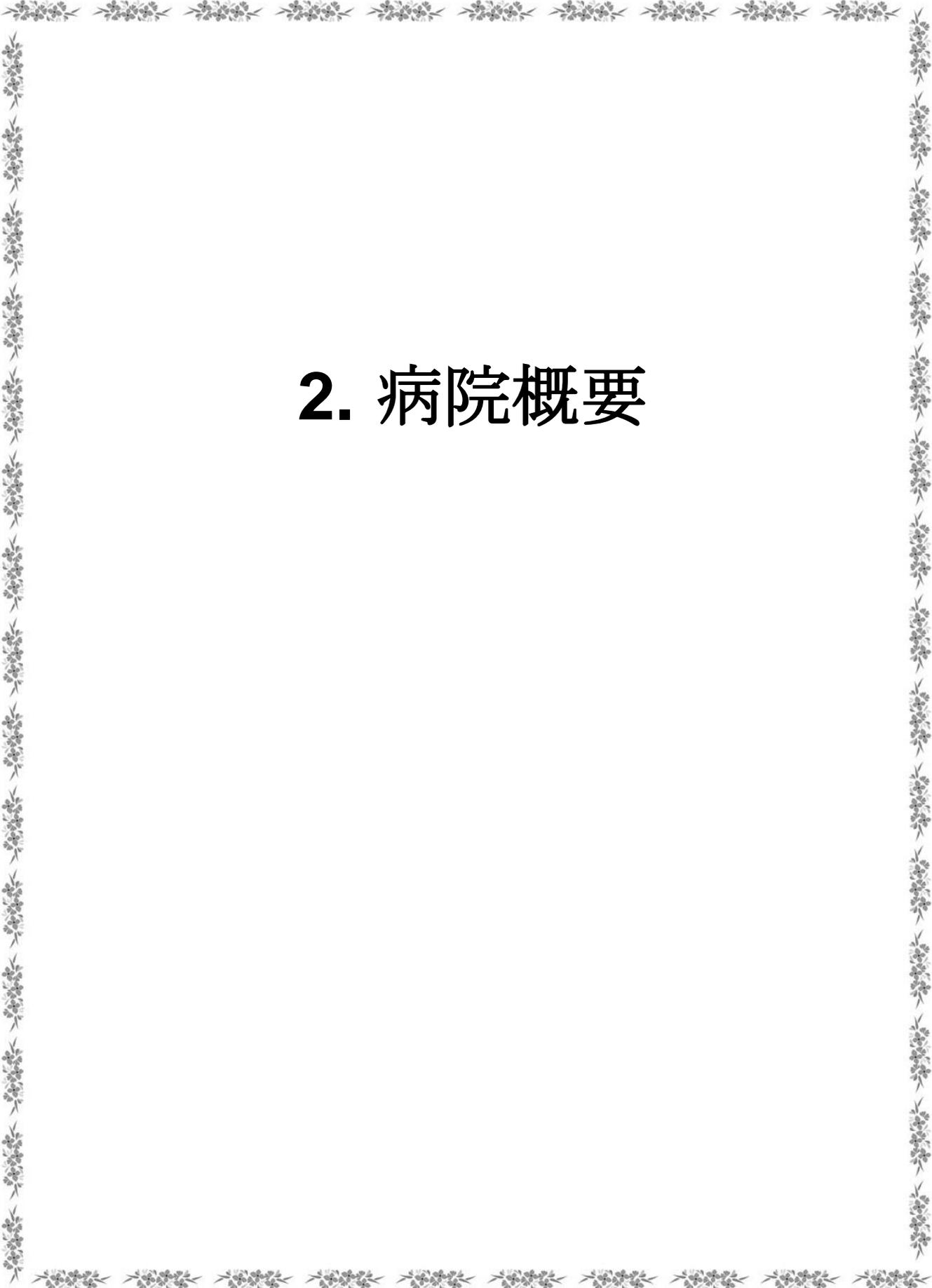
作成に当たり、ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

2022年度も新型コロナウイルス感染症は収まらず第7波、第8波と感染拡大は続きました。しかし、ワクチン接種の広まりやウイルスの変質により社会的には収まりつつあると考えられ、経済活動や一般人の生活は元に戻る兆しが見えています。

当院も2022年度は、病棟でのコロナクラスターを何度か経験し、入院や手術を制限することがありました。これまでの経験をもとに職員が一丸となって努力し短期間で終息することができたと認識しました。当院を必要とされる患者さんの為にも今後も安定した医療を提供できるよう、一層の努力を続けて参ります。

新型コロナ感染症が2023年5月8日より5類となり、色々な制限がなくなりました。しかし、コロナ感染症がなくなったわけではなくまたその他の病気も含め、今後も医療がひっ迫した状態になる可能性はあります。また、高齢者がまだまだ増えていく状況でもありさらなる医療体制の充実に努めていきたいと考えております。来年度に向けては保険証のマイナカードへの移行が進むことなど医療体制に負担がかかる可能性のある政策も進んでいますが、色々な面で患者さんが安心して病院にお越しいただけるよう様々な配慮ができる病院でありたいと考えております。

これからも、さらに高みを目指して病院の理念であります、“地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します”をスローガンに職員一同継続して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど賜りますようお願い申し上げます。

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

2. 病院概要

医療法人社団仁生会 理念

「 一 隅 を 照 ら す 」

仁生会 甲南病院の理念と基本方針

理念

「地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します」

基本方針

1. 医の倫理を守り、患者さん中心の医療に心がけ、プライバシーと権利を尊重します。
2. 医療の質の向上に努め、安全で高度な医療を提供します。
3. 急性期医療から在宅医療まで、安心して受けていただける治療環境を充実します。
4. 地域の関係機関と連携し、医療・介護・福祉に貢献します。
5. 地域の皆様の健康寿命延伸に努めます。
6. 職員の安心・信頼・満足を得られるよう努力します。

患者さんの権利

1. 平等で適切かつ安全な医療を受ける権利があります。
2. 個人情報やプライバシーは厳正に守られる権利があります。
3. 病気、治療、今後の見通し等について、分かり易く納得出来るまで十分な説明を受ける権利があります。
4. 提案された検査、治療に対して自らの意思で決定する権利があります。
5. 自らの診療記録を見る権利があります。
6. 自分の診療内容について別の医師に聞く権利があります。
7. 十分な医療サービスを人としてふさわしいやり方で受ける権利があります。

患者さんをお願いする事

1. 患者さんの健康状態や病状について、できるだけくわしくお聞かせ下さい。
2. 安全確保のためアレルギー歴などあればきちんとお伝え下さい。
3. 私たちは患者さんとのパートナーシップを重要と思っております。いろいろな形で診療に参加して下さいようお願い申し上げます。
4. 適切な治療を受けられるように病院内では、病院の規則と職員の指示をお守り下さい。

仁生会 甲南病院 沿革

令和5年3月31日現在

昭和39年	(1964年)	8月	甲南町立甲南病院廃止に伴い甲南病院を開設 院長 磯矢 良《病床数 50》
昭和42年	(1967年)	10月	医療法人社団仁生会を設立 理事長 磯矢 良 本館増改築工事《病床数 65》
昭和54年	(1979年)	7月	別館増改築工事《病床数 70》
平成元年	(1989年)	7月	本館第一期増改築工事
平成2年	(1990年)	7月	本館第二期増改築工事《病床数 80》 CT装置導入
		12月	診療時間の変更（夜間診療を新設）
平成3年	(1991年)	3月	医事コンピューター導入
平成4年	(1992年)	3月	医事課・薬品庫の増築工事
平成6年	(1994年)	2月	X線室増改築工事（一般撮影用X線装置の増設）
		12月	新看護の施設基準届出 病院託児所新設
平成7年	(1995年)	7月	X線CT室拡張、CT装置入れ替え
平成8年	(1996年)	1月	診療時間の変更（土曜日の夜間診療を追加）
		11月	診療科目の新設（循環器科・消化器科・呼吸器科）
平成9年	(1997年)	4月	院長 相馬彰就任
		7月	診療科目の新設（整形外科）
		11月	新看護（3.5対1、看護料、看護（B）加算13対1看護補助料）の施設基準届出
平成10年	(1998年)	4月	診療科目の新設（心臓血管外科・放射線科）
平成11年	(1999年)	8月	新築移転《病床数一般病棟50・療養型100》 更生医療機関の指定（心臓血管外科に関する医療）
平成12年	(2000年)	1月	甲南病院看護職員宿舎「エトワール甲南」完成
		4月	介護療養型医療施設の指定《療養44床》 看護補助加算（10対1）の施設基準届出
平成13年	(2001年)	11月	一般病棟入院基本料I群3（3対1）の施設基準届出 療養病棟入院基本料2（5対1）の施設基準届出
平成15年	(2003年)	4月	一般病棟45床増床《病床数一般病棟95・療養病床100》 介護療養型医療施設の指定変更《療養62床》 居宅支援事業者（短期入所）の指定 MRIの導入、ICR、第2手術室の設置、理学療法室の拡張
		12月	一般病棟4床増床《病床数一般病棟99・療養病床100》
平成16年	(2004年)	2月	救急病院として告示
		6月	マンモグラフィの導入
		8月	一般病棟入院基準料I準群入院基本料2（2.5対1）の施設基準届出
平成17年	(2005年)	4月	会長 磯矢良就任 理事長 相馬彰就任 院長 田中久富就任
		10月	理事長 古倉みのり就任
平成19年	(2007年)	4月	（財）日本医療機能評価機構による認定受審
		7月	一般病棟・療養病棟の再編成（2A ⇄ 2C） 《病床数一般100床・療養99床（医療型50介護型49）》 入院基本料看護基準10対1の施設基準届出

平成 20 年	(2008 年)	8 月 7 月	病院内に訪問リハビリテーション事業所を開設 透析室の開設 (4 床) 療養病棟の再編成 《病床数一般 100 床・療養 95 床 (医療型 50 床・介護型 45 床)》
平成 21 年	(2009 年)	1 月	診療科目の変更 内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・代謝内科、女性内科 外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、心臓血管外科、放射線科、麻酔科
		10 月	療養病棟の再編成 (介護療養型病床の廃止) 《病床数一般 100 床・療養 95 床 (医療型 95 床)》
平成 22 年	(2010 年)	4 月	在宅療養支援病院の施設基準届出、急性期看護補助体制加算の施設基準届出
		6 月	健診室を開設
平成 23 年	(2011 年)	4 月	診療科目の新設 (婦人科)
		5 月	副理事長 磯矢英士就任
		6 月	人工透析センターを開設 療養病床 4 床増床《一般 100 床、療養 99 床》
		7 月	仁生会甲南診療所開設 (甲賀市立甲南診療所を引き継ぐ)
平成 24 年	(2012 年)	10 月	(財) 日本医療機能評価機構による更新認定受審
平成 25 年	(2013 年)	4 月	診療時間の変更 (土曜日午後診療休診) 電子カルテ導入
		7 月	3.0 テスラ MRI 導入 リハビリ室拡張
平成 26 年	(2014 年)	4 月	院長 渡田正二就任 診療科目の新設 (肛門外科)
		5 月	ひまわり保育園新築移転竣工
平成 27 年	(2015 年)	1 月	地域包括ケア病床 20 床届出
		4 月	診療科目の新設 (形成外科)
		8 月	診療科目の新設 (呼吸器内科、呼吸器外科)
		10 月	心臓リハビリ室開設
平成 28 年	(2016 年)	4 月	診療科目の新設 (腎臓内科)
		8 月	在宅医療支援センターこうなんを開設 訪問看護ステーションこうなん、居宅介護支援事業所を移転配置
		10 月	急性期看護補助体制加算 50 : 1 の施設基準届出
		11 月	(財) 日本医療機能評価機構による更新認定受審
平成 29 年	(2017 年)	8 月	マンモグラフィ装置、64 列 CT 装置更新
		9 月	一般撮影装置更新、生化学分析装置更新、甲南診療所閉院
平成 30 年	(2018 年)	3 月	電子カルテ更新
		6 月	院長 古倉みのり兼任
		7 月	乳房用自動超音波画像診断装置導入
平成 31 年	(2019 年)	4 月	(財) 日本医療機能評価機構中間報告 診療科目の新設 (脳神経外科)
令和元年	(2019 年)	7 月	会長 磯矢良退任
		8 月	地域包括ケア病棟 50 床へ変更届出
		12 月	ナビゲーションシステム Nav3i 導入
令和 2 年	(2020 年)	1 月	院長 山本寛就任
		4 月	全自動輸血検査装置導入
		8 月	循環器用透視撮影装置更新
		10 月	地域包括ケア病棟 80 床へ変更届出
		12 月	増築棟完成 (診察室、リハビリ室等拡張)
令和 3 年	(2021 年)	4 月	仁生会理念「一隅を照らす」制定 診療科目の新設 (泌尿器科)

		6月	冷温水発生機更新
		6月	外来化学療法室開設
		12月	(財)日本医療機能評価機構による更新認定受審
令和4年	(2022年)	2月	甲賀広域行政組合より救急自動車譲受 調剤支援システム更新
		3月	PACS更新、DR装置導入
		4月	甲南病院基本方針変更
		8月	地域包括ケア病棟100床へ変更届
		11月	自動精算機更新、1台増設
令和5年	(2023年)	1月	院長 神谷純広就任 火災報知システム更新
		3月	在宅医療支援センターこうなんを閉鎖 訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を病院へ移転配置 2Cナースコール装置更新

施設概要

令和5年3月31日現在

名称	医療法人社団仁生会 甲南病院	
所在地	〒520-3321 滋賀県甲賀市甲南町葛木 958 番地 TEL : 0748-86-3131 (代表) FAX : 0748-86-4131	
開設	昭和42年10月24日 (移設 平成11年8月1日)	
開設者	医療法人社団仁生会	
代表者	理事長 古倉 みのり	
管理者	病院長 神谷 純広	
建物	敷地面積 13,739 m ² , 建築面積 5,607 m ² , 延床面積 12,221 m ² , 鉄骨耐火構造 3階建て	
標榜診療科	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液内科 腎臓内科 女性内科 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 泌尿器科 婦人科 放射線科 麻酔科 糖尿病・代謝内科 脳神経内科	
診察受付時間	平日 <午前診> 8:30~12:00 <午後診> 15:30~18:00 土曜日 <午前診> 8:30~12:00	
休診日	日祝日、土曜日午後、年末年始(12月29日~1月3日)、開院記念日(8月1日)	
病棟	許可病床数 199床 一般病床 100床 (地域包括ケア病棟 100床)・療養病床 99床	
主な設備	3T MRI、マルチスライス CT (64列)、循環器用透視撮影装置、マンモグラフィ装置、乳房用自動超音波画像診断装置、一般撮影装置、DR装置、X線TV装置、ナビゲーションシステム Nav3i 装置、骨密度測定装置 (全身用、前腕用)、PACS、自動血球計数装置、生化学分析装置、免疫発光測定装置、血液ガス分析装置、超音波画像診断装置、血管内皮機能検査装置、血圧脈波検査装置、肺機能検査装置、トレッドミル負荷心電計、末梢神経伝導速度検査装置、脳波検査装置、全自動輸血検査装置、人工透析装置、手術室 2室 他	
併設施設	居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション	ひまわり保育園 訪問リハビリテーション事業所

指定・認定施設一覧

【指定施設】

(財)日本医療機能評価機構認定病院
在宅療養支援病院
救急告示病院
社会保険指定医療機関
国民健康保険指定医療機関
労災保険指定医療機関
身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
生活保護法指定医療機関
結核予防指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関
難病医療費助成指定医療機関
指定居宅介護支援事業所（滋賀県知事指定事業所）
指定訪問リハビリテーション事業所（滋賀県知事指定事業所）
滋賀県特定疾患治療研究事業委託医療機関

【研修・関連施設】

日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本腹部救急学会認定施設
消化器外科学会指定修練施設
日本消化器病学会関連施設
日本整形外科学会専門医制度による研修施設
滋賀県難病医療協力病院

【基本診療料】

機能強化加算
療養病棟入院基本料 1
救急医療管理加算
診療録管理体制加算 1
医師事務作業補助体制加算 1（一般病床）20 対 1（療養病床）50 対 1
療養環境加算 1
療養病棟療養環境加算 1
医療安全対策加算 1
感染対策向上加算 3
患者サポート体制充実加算
病棟薬剤業務実施加算 1
（一般病床）データ提出加算 1、（療養病床）データ提出加算 3
入退院支援加算 1
認知症ケア加算 3
地域包括ケア病棟入院料 1
看護職員処遇改善評価料 29

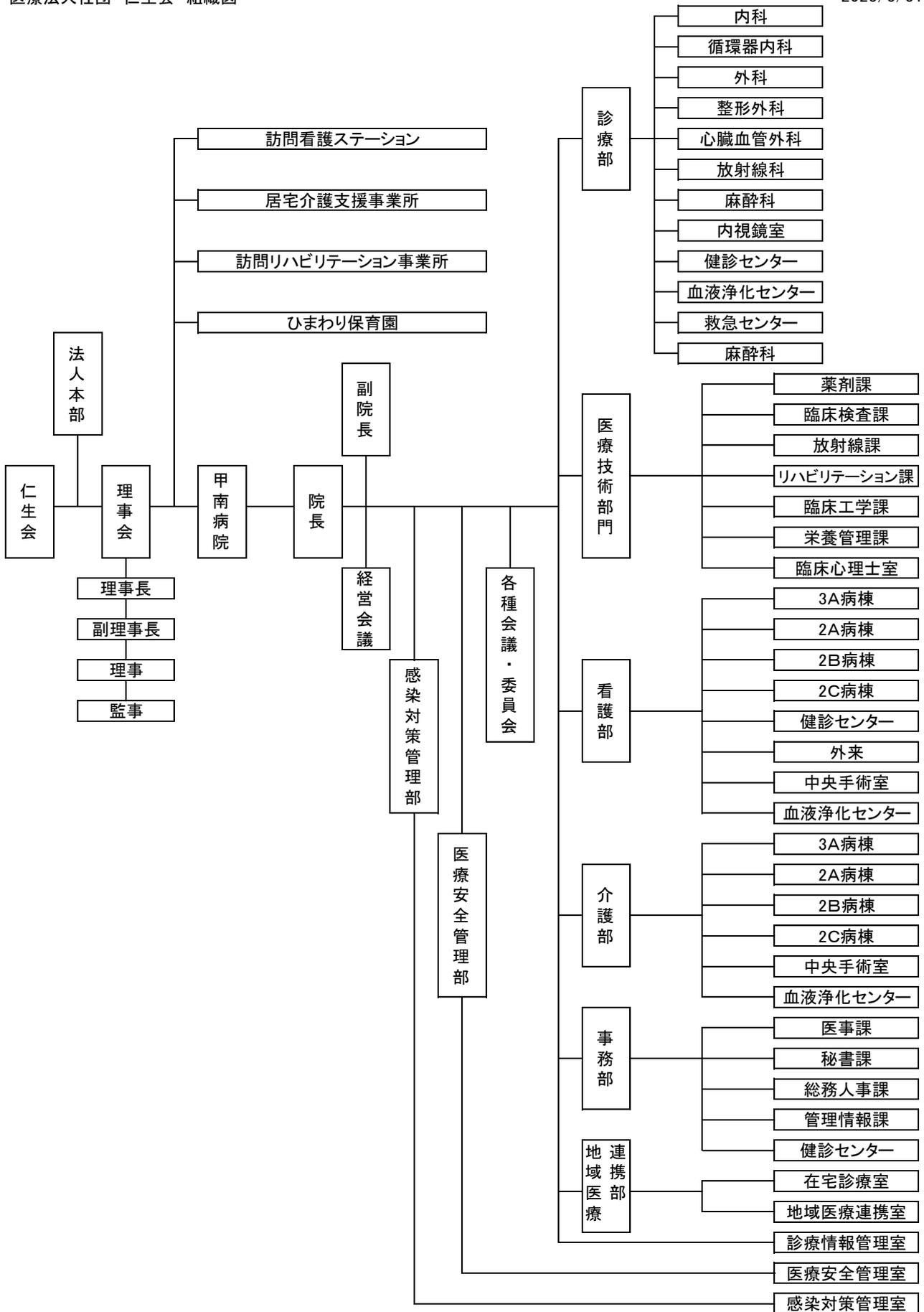
【特掲診療料】

心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料
二次性骨折予防継続管理料 2
二次性骨折予防継続管理料 3
外来腫瘍化学療法診療料 2
ニコチン依存症管理料
がん治療連携指導料
こころの連携指導料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
別添1の「第14の2」の1の(2)に規定する在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
在宅がん医療総合診療料
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
検体検査管理加算(Ⅱ)
画像診断管理加算 2
CT撮影(64列以上マルチスライス型機器)及びMRI撮影(3テスラ以上の機器)
冠動脈CT撮影加算
外来化学療法加算 2
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
がん患者リハビリテーション料
人工腎臓
導入期加算 1
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
椎間板内酸素注入療法
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法(ⅠA B P法)
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。))
輸血管理料(Ⅱ)
輸血適正使用加算
麻酔管理料(Ⅰ)
酸素の購入単価入院時食事療養(Ⅰ)
入院時生活療養(Ⅰ)

医療法人社団 仁生会 職員数（令和5年3月31日時点）

単位：名

部署名	常勤	非常勤	合計
診療部	12	58	70
看護部	106	21	127
介護部	45	8	53
医療安全管理室	1	0	1
感染対策管理室	1	0	1
放射線部	8	1	9
薬剤部	8	5	13
臨床検査部	12	1	13
臨床工学部	9	0	9
リハビリテーション部	31	1	32
栄養管理部	3	0	3
臨床心理士室	2	0	2
地域医療連携部	6	1	7
健診センター	3	3	6
診療情報管理室	2	0	2
事務部	2	0	2
管理情報課	5	5	10
医事課	14	4	18
秘書課	17	0	17
総務人事課	4	0	4
法人本部	1	0	1
居宅介護支援事業所	4	0	4
訪問看護ステーション	5	3	8
総計	301	111	412



2022 年度活動報告

行事・イベント

開催日	内容
4月 1日	入職式
8月 2日	永年勤続表彰式
11月 14日～18日	高校生職場体験
11月 22日、29日	院内研究発表会
1月 4日	年頭式



入職式



永年勤続表彰式



院内研究発表会



年頭式

地域住民向けの教育、啓発活動

出前健康講座

開催月	テーマ	開催地	講師
10月27日	サルコペニアフレイルを予防して元気な身体に！	かふか生涯学習館	増田管理栄養士
12月22日	食事介助の仕方、形態、介護士との連携方法	甲賀市役所	増田管理栄養士
12月24日	足腰の痛み予防、運動方法について	土山中央公民館	中井理学療法士
2月25日	誤嚥性肺炎予防のための食形態の工夫（トロミ茶づくり、お茶ゼリー試食）	土山中央公民館	増田管理栄養士

糖尿病教室

開催日	テーマ	場所
5月16日	糖尿病について 等	甲南病院
6月20日	糖尿病の合併症について 等	甲南病院
7月11日	糖尿病の急性期合併症について 等	甲南病院
8月8日	低血糖について 等	甲南病院
9月12日	糖尿病の治療について 等	甲南病院
11月21日	糖尿病について 等	甲南病院
12月19日	糖尿病の合併症について 等	甲南病院
1月16日	糖尿病と歯周病の関係～できていますか？歯周病のコントロール～ 等	甲南病院
2月20日	低血糖について 等	甲南病院
3月20日	糖尿病の治療について 等	甲南病院

院内研究発表会

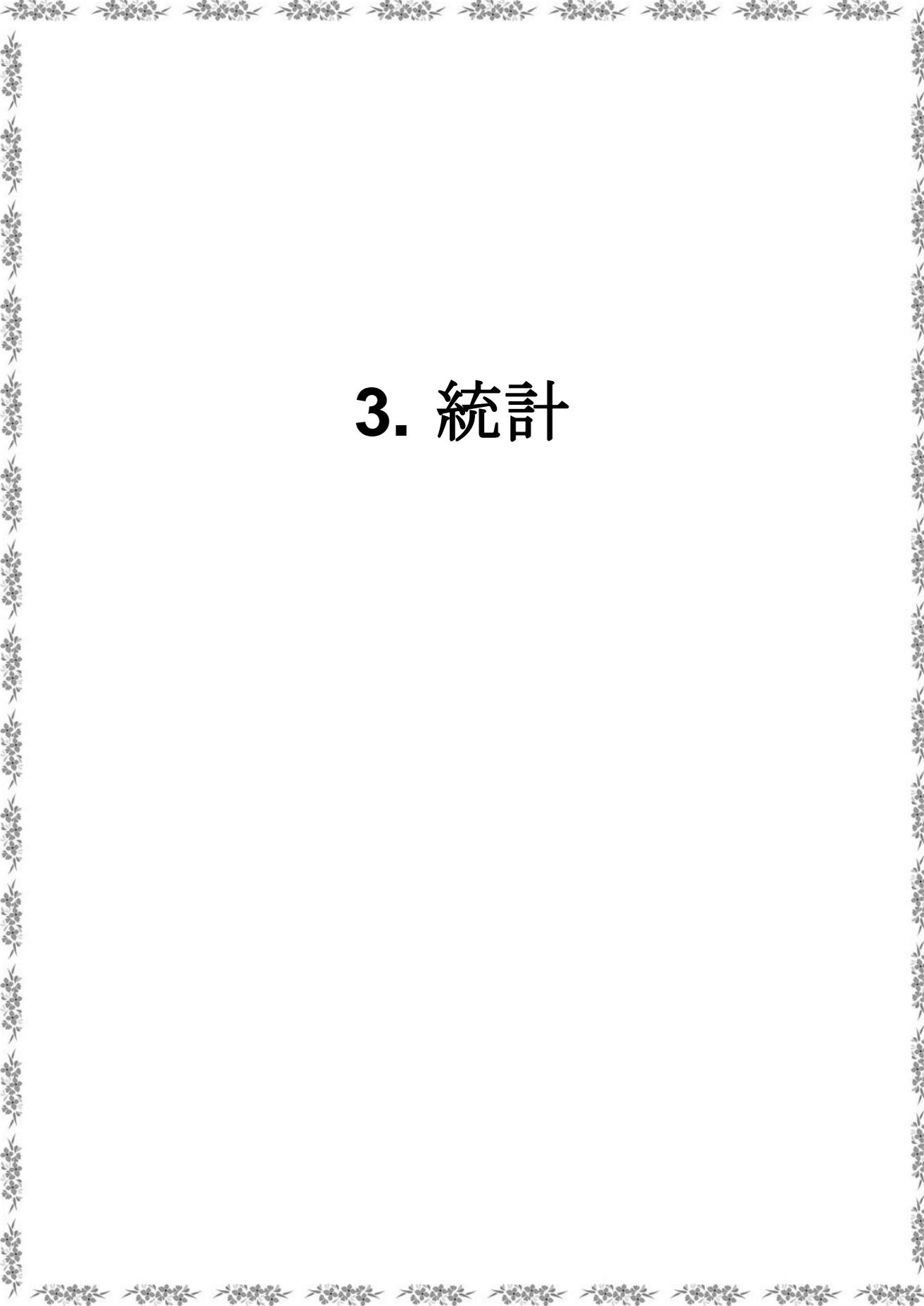
開催日 11月22日

発表者	職種	論題名
岡島 未奈	看護部	ADL を低下させない為の疼痛緩和・早期離床
澤 由夏	看護部	拘縮のある患者の清潔ケアと拘縮予防
須藤 由香	看護部	高齢ストーマ造設患者への関わり ～便破棄の手技獲得を目指して～
藪内 渚	看護部	老人性乾皮症の改善に向けた保湿ケアの実践
松本 鈴	介護部	オムツを着用することで引き起こすスキントラブルと快適性について ～意思表示が困難な患者との排泄ケアの関りの中で～
小久保 美里	放射線部	一般撮影装置による骨盤撮影の検討

北野 詩織	臨床検査部	富士ドライケム NX10N による血中アンモニア値の経時的変化と保存状態による変化の検討
錦 勇人	臨床工学部	維持透析患者の腎性貧血における ESA 製剤から HIF-PH 阻害薬へ変更による貧血改善の検討
安井 陽	医事課	保険証登録誤りによる返戻件数を減らす取り組みについて
川東 光	看護部	介護抵抗のある認知症患者への関りを通して
松永 唯里	看護部	真菌に対する正しいケアの継続
西森 要	看護部	高齢者の創傷を治癒させる看護
岩尾 菜々子	看護部	頸椎損傷の患者の腹部マッサージによる排便コントロール
齋田 早智絵	看護部	心不全患者に対する足浴の意義 ～足浴における浮腫軽減と不安の減少について～
田村 峰香	リハビリテーション部	腸腰筋膿瘍のため長期臥床となった症例の歩行機能向上に向けた介入 ～不安なく外出ができるように～
井島 梨緒	リハビリテーション部	環境調整を重ねて自宅退院に至った症例 ～合意形成に向けた多職種連携～
西田 悠生	臨床工学部	オンライン血液濾過透析（O-HDF）療法の有効性と QOL の変化
玉木 里奈	医事課	入院診療計画書の未提出を防ぐには ～未提出ゼロを目指して～
高尾 真友	秘書課	診察補助をスムーズに進めるために

院内研修

開催日	内容	主催
6月 2日 6日～ 8日	医療安全～患者誤認による重大事故対策を中心に～	医療安全委員会
6月 2日～20日	あなたならどうする？エンドオブライフになる人々と家族とのコミュニケーション	パートナーシップ 倫理委員会
6月 22日 27日 30日	救急処置研修 ～病院内での成人に対する二次救急処置（ALS）～	救急検討委員会
6月 27日～30日	人権研修 事例から学ぶ医療現場におけるハラスメント対策	事務部 総務人事課
9月 5日～ 8日 14日 17日	感染対策研修～手指衛生の重要性～	感染対策委員会
10月 11日～12日 13日～14日 15日～16日	交通安全研修（DVD研修）	衛生委員会 管理情報課
10月 17日～19日	骨粗鬆症に対する知識の共有と FLS の意義	骨粗鬆症チーム
11月 14日～16日	職場腰痛予防対策研修（DVD研修）	衛生委員会 リハビリテーション部
11月 1日 2日 4日 5日	医療安全 ～磨け、コミュカ！医療安全のためのコミュニケーション～	医療安全委員会
12月 5日 7日～ 9日	アンガーマネジメント	事務部 総務人事課
1月 17日～31日	個人情報保護研修（学研ナーシングサポートにて） ～身につけておきたい医療現場の個人情報と情報リテラシー	個人情報プライバシー委員会
2月 1日～ 3日	褥瘡研修～スキンケア（皮膚裂傷）の管理～	スミスアンドネフ ュー社
2月 2日 4日 6日 8日	感染対策研修 ～インフルエンザとノロウイルス～	感染対策委員会

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs surrounds the central text.

3. 統計

統計

1.外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	5,506	5,256	5,718	5,710	5,419	5,433	5,507	5,327	5,633	5,104	5,103	5,812	65,528
新患者数	129	145	127	154	167	164	145	163	167	155	90	132	1,738
1日平均	229.4	228.5	219.9	228.4	216.8	226.4	220.3	222.0	234.7	221.9	232.0	223.5	225.2

2.入院患者数

一般病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	548	552	540	493	-	-	-	-	-	-	-	-	2,133
在院日数	15.4	18.0	10.8	12.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病床利用率	87.2	84.8	85.5	76.8	-	-	-	-	-	-	-	-	82.2
地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数 2A	1,319	1,275	1,229	1,377	1,274	1,309	1,443	1,383	1,400	1,526	1,359	1,412	16,306
延患者数 3A	865	836	845	865	1,225	1,409	1,404	1,288	1,370	1,398	1,363	1,397	14,265
在院日数 2A	24.8	39.1	22.8	24.5	25.6	25.8	20.0	25.0	23.5	24.9	28.6	19.3	-
在院日数 3A	20.6	22.3	18.8	17.3	17.2	25.7	20.2	23.0	27.7	28.6	19.9	21.6	-
病床利用率 2A	95.8	91.4	89.9	96.4	88.6	95.5	88.3	88.3	86.3	94.9	92.5	86.4	91.2
病床利用率 3A	91.0	85.9	89.3	88.9	75.9	90.4	85.6	82.0	84.5	87.8	92.4	86.0	86.6
医療療養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	2,976	3,012	2,960	3,047	2,839	2,926	3,000	2,823	2,951	3,042	2,753	2,896	35,225
在院日数	330	222	235	264	217	194	260	216	218	224	161	164	-
病床利用率	99.7	97.6	98.9	98.6	91.8	97.8	97.2	94.3	95.7	98.5	98.4	93.5	96.8

3.科別患者数

◆ 内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合内科	460	415	476	530	484	531	573	519	553	489	466	591	6,087
新患外来	111	87	126	108	109	105	105	113	114	94	111	153	1,336
午後外来	259	269	239	267	267	228	229	215	253	205	195	199	2,825
入院	128	126	133	130	150	134	148	143	125	140	142	134	1,633

◆ 消化器内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	478	396	516	536	403	423	434	417	394	418	404	471	5,290

◆ 循環器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	544	542	565	546	579	557	548	537	593	491	531	585	6,618
入院	35	36	47	46	29	31	40	37	36	38	52	50	477

◆ 心臓血管外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	5	13	10	15	7	10	11	9	12	7	10	10	119
入院	5	2	4	5	2	2	0	4	3	2	2	1	32

◆ 脳神経内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	21	20	22	23	30	19	26	29	23	24	28	29	294

◆ もの忘れ外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	101	48	96	106	74	99	81	81	79	80	63	102	1,010

◆ 脳神経外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	46	36	44	35	51	42	38	43	46	44	32	35	492

◆ 腎臓内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	101	76	93	120	59	88	87	79	101	71	77	80	1,032

◆ 糖尿病・代謝内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	238	239	241	249	244	256	236	231	257	231	228	251	2,901

◆ 呼吸器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	30	16	30	34	22	20	42	19	26	27	35	24	325

◆ 外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
午前外来	261	250	338	313	256	299	278	241	286	222	271	292	3,307
午後外来	36	12	25	35	22	29	21	16	23	18	25	17	279
入院	47	36	35	25	35	34	44	30	29	29	31	36	411

◆ 肥満外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	36	30	40	42	50	38	61	58	63	-	-	-	418

◆ 麻酔科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	16	11	23	19	14	14	21	29	11	21	14	15	208

◆ 乳腺外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	38	42	35	30	40	32	41	39	33	19	30	32	411

◆ 婦人科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	86	91	147	104	99	104	163	134	134	72	92	119	1,345

◆ 整形外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,026	1,068	1,061	974	976	962	1,011	1,014	1,046	1,033	947	1,140	12,258
入院	79	59	67	66	65	75	68	75	83	75	78	76	866

◆ 膝外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	76	60	77	80	74	70	59	75	64	59	48	71	813

◆ 脊椎外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	11	31	29	32	20	36	40	12	34	28	31	26	330

◆ 形成外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	37	39	58	44	43	63	45	33	45	37	35	55	534

◆ 泌尿器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	94	80	65	87	91	66	78	101	88	87	96	74	1,007

◆ 透析センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	840	824	821	834	844	780	778	755	811	774	686	743	9,490
入院	16	11	23	21	19	17	22	17	16	14	19	25	220

◆ 健診センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診者	212	246	445	333	243	452	484	461	400	164	168	209	3,817

◆ 訪問診療

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	100	98	109	89	112	104	103	98	135	82	100	103	1,233

4.紹介率

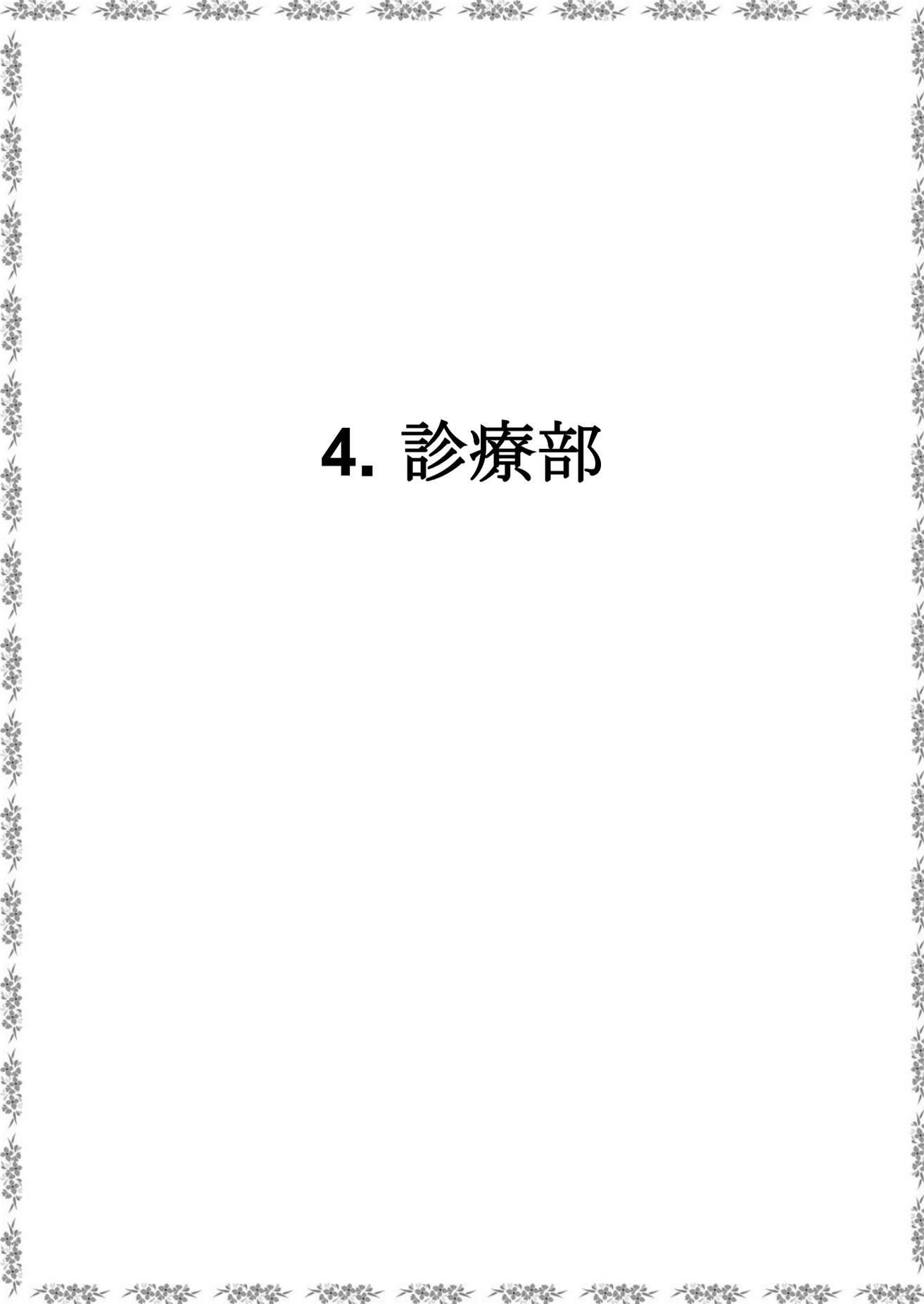
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
紹介率	32.4	30.4	42.2	31.1	24.4	32.2	33.3	33.8	27.6	34.5	39.3	44.5	33.8
逆紹介率	14.3	11.2	16.2	13.8	8.1	12.2	13.0	11.2	19.4	10.3	14.1	16.4	13.4

5.地域別入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
甲南町	47	44	59	39	53	53	77	53	53	56	58	62	654
甲賀町	26	21	28	20	34	19	23	28	20	19	31	20	289
水口町	34	15	27	32	23	27	26	34	19	30	23	54	344
土山町	6	5	10	5	9	6	9	12	8	7	7	8	92
信楽町	9	15	12	13	10	14	7	13	9	14	7	15	138
日野町	3	2	1	1	0	3	3	0	2	2	0	1	18
湖南市	5	1	3	3	3	1	2	4	4	1	0	0	27
その他県内	2	1	6	1	3	3	3	0	5	3	1	0	28
伊賀市	2	4	2	5	5	5	7	5	2	4	9	3	53
その他県外	3	1	5	3	0	3	2	1	2	0	1	4	25
合計	137	109	153	122	140	134	159	150	124	136	137	167	1,668

6.地域別退院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
甲南町	53	37	58	51	47	48	77	61	51	40	71	62	656
甲賀町	30	18	24	28	29	19	23	19	23	17	36	30	296
水口町	31	29	27	27	28	24	26	27	29	27	23	35	333
土山町	4	5	8	7	7	8	9	12	7	7	8	6	88
信楽町	16	8	14	13	14	13	7	6	16	10	12	17	146
日野町	2	4	1	0	1	1	3	2	2		1	2	19
湖南市	4	2	3	3	3	1	2	1	4	2	0	0	25
その他県内	3	2	4	2	3	3	3	2	3	4	0	2	31
伊賀市	5	4	2	5	3	4	7	6	1	4	6	5	52
その他県外	2	0	5	1	2	3	2	2	2	1	1	5	26
合計	150	109	146	137	137	124	159	138	138	112	158	164	1,672

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

4. 診療部

内科（総合内科）

1.概要

当院は地域性により高齢者が多いため、多疾患を合わせ持つ患者さんが多く、総合内科では感染症、生活習慣病をはじめ疾患は多岐にわたっています。循環器外来、消化器外来、糖尿病外来、膠原病、腎臓内科、呼吸器外来等、専門外来に必要な応じて院内紹介をしています。ほとんどの画像検査、生理検査は当日に施行できるため、適切に診断・治療を行い、入院の適応を判断するなどスムーズな診療が可能です。診察は月曜日～土曜日の午前診を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事長	古倉 みのり	日本医師会認定産業医 認知症サポート医
理事	片岡 慶正	日本内科学会認定内科医 日本腎臓学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本超音波医学会専門医・指導医
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医
非常勤医師	佐川 友哉	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会専門医 日本リウマチ学会専門医
非常勤医師	堀口 淳矢	日本内科学会認定内科医 日本腎臓学会専門医
非常勤医師	室谷 佳秀	日本内科学会認定内科医

3.診療実績

- ◆ 午前外来患者数 7,423 名
- ◆ 午後外来患者数 2,825 名
- ◆ 入院患者数 1,633 名

消化器内科

1.概要

現在、消化器内科は常勤医師2名と非常勤医師6名により診療と検査を行っています。検査は、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を中心に行っています。内視鏡検査以外にも出血性潰瘍に対する止血術や食道静脈瘤に対する治療のほか、内視鏡的胃粘膜切除術や大腸ポリプ切除術も行っています。膵臓・胆管領域では、胆管結石に対する内視鏡的結石除去術を行い、閉塞性黄疸に対しては、内視鏡的減黄術や経皮的ドレナージ術を行い対応しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
内視鏡室長	馬場 修	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本医師会認定産業医 日本ヘリコバクター学会認定医
医員	瀬川 秀和	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本血液学会専門医 日本医師会認定産業医
非常勤医師	古倉 聡	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本ハイパーサーミア学会指導医 日本癌治療学会臨床試験登録医 日本がん治療医認定機構暫定教育医
非常勤医師	上田 啓介	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会肝臓専門医
非常勤医師	竹田 善哉	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会肝臓専門医
非常勤医師	土屋 さやか	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤医師	山根 慧己	日本消化器病学会専門医

- ◆ 他スタッフ
非常勤医師 1名

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 5,290名
- ◆ 検査件数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃カメラ	154	178	195	186	142	196	202	172	172	123	109	134	1,963
大腸カメラ	34	39	47	41	38	39	37	40	41	41	41	56	494
ポリペク	14	8	10	12	25	11	20	17	5	15	18	11	166
ERCP	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	5
PEG 造設	2	3	1	1	0	3	0	1	1	1	3	0	16
胃ろうチューブ交換	2	2	5	2	0	3	2	5	3	4	0	5	33

*ERCPにはERBD、ENBD、ESTなど含む

循環器科

1.概要

現在、循環器科は常勤医師2名、非常勤医師1名体制で心筋梗塞・狭心症・閉塞性動脈硬化症・内シヤント狭窄のカテーテル検査・治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術、心不全、不整脈の内服加療等を行っており、心臓リハビリテーションも積極的に行っております。2017年8月に冠動脈CTが導入され、より早期の虚血性心疾患の診断が可能となっております。

当科は何より患者さんのためになるよう考え、より安全に治療することを心がけて診療をさせていただいております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
循環器部長	川浪 二郎	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本医師会認定産業医
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	
非常勤医師	戸村 暢成	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医

3.診療実績

◆ 外来患者数	6,618 名
◆ 入院患者数	477 名
◆ 検査件数・手術件数など	
心エコー	1,356 件
心臓カテーテル検査	54 件
経皮的冠動脈形成術	16 件
恒久的ペースメーカー植え込み術	4 件
ペースメーカー電池交換術	1 件

心臓血管外科

1.概要

当科では動脈疾患は主に腹部大動脈領域以下の末梢血管外科を中心に、また下肢静脈疾患・リンパ疾患を診療しております。特に閉塞性動脈硬化症に対しては、血管内カテーテル治療または手術加療を行っておりますが、心臓血管外科医が担当することで、一度の治療で両者を同時に行うことが出来るという特長があります。また、手術加療の適応とならない患者さんに対しても、内服などの保存的加療および療養指導を行っております。

また、透析患者さんのシャント設置術および経皮的拡張術も行っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 119 名
- ◆ 入院患者数 32 名
- ◆ 検査件数 下肢動脈造影 5 件
- ◆ 手術件数

下肢静脈瘤手術	9 件
下大静脈フィルター留置術	2 件
体外ペースメーカー術	1 件
四肢の血管拡張術	8 件
経皮的冠動脈ステント留置術	8 件
経皮的冠動脈形成術	2 件
血管結紮術	1 件
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	33 件

脳神経内科

1.概要

脳血管障害、認知症、パーキンソン病、てんかんの患者さんが多くおられます。

外来ではおよそ当日に、CT・MRI・レントゲンなど画像検査、エコー・採血含め生理検査を行うことが可能です。ただし、脳波や神経伝導検査、髄液検査は、当日に検査をすることは難しく、また補助検査としてのRI検査、神経筋疾患の補助検査である針筋電図は近隣施設へ依頼しています。脳梗塞急性期のt-PAは施設基準を満たさず、当院では施行していません。脊髄疾患は整形外科医師と連携をとっています。当院のリハビリは理学療法、作業療法、言語療法とレベルの高い常勤スタッフがおり、急性期・亜急性期、そして慢性期の患者さんも受け入れています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 294 名
- ◆ 紹介件数 29 件

もの忘れ外来

1.概要

2018年1月に特殊外来として「もの忘れ外来」を開設しました。午前中は再診患者枠で予約制とし主に内服治療を行い、ご家族の日頃の不安や悩みについてアドバイスも行っております。午後は新患患者枠で完全予約制としております。頭部CT、認知症採血、認知検査を行ったうえで、認知症サポート医が診察をして本人とご家族へ結果を説明しています。当院は、臨床心理士2名が認知検査、心理検査を担当し、詳細な結果報告と生活上のアドバイスを提案しているため患者さんの日常生活に役立っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 1,010名
- ◆ 紹介件数 16件

脳神経外科

1.概要

脳神経外科とは、脳神経系の疾患に対して外科治療を行う専門家です。普段は他の病院で、脳神経内科とともに脳卒中センターを運営し、滋賀県で最も多くの脳卒中患者さんの診療や手術を行っております。

当科では、脳血管障害（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳出血、脳梗塞、頸部頸動脈狭窄など）、脳腫瘍、頭部外傷（慢性硬膜下血腫を含む）、さらには水頭症（2次性水頭症、正常圧水頭症）などを中心に診療を行っております。最新鋭の3T-MRIや64列CT、エコー機器を用いて高精細な画像、さらには3D画像を駆使して、詳細な診断を行い、治療方針を検討しております。内科的な治療が中心となる疾患に関しましては脳神経内科と連携して診療に当たっております。脊髄疾患に関しましては整形外科に診療を依頼しております。また最近はヘリコプター等で搬送され、遠方の他院で急性期治療を受けられる方が増えております。地元に戻ってこられた際には、他院で行われた術後の経過観察も積極的に行っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	岡 英輝	日本脳神経外科学会専門医・指導医 日本脳卒中学会指導医 日本脳卒中外科学会技術指導医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本脳神経外傷学会指導医

3.診療実績

◆ 外来患者数 492名

腎臓内科

1.概要

当科では、健診などで尿潜血やたんぱく尿など、尿に異常を指摘された方、高血圧や糖尿病などから腎臓が悪くなった方など、多くの腎疾患の診療を行っています。腎疾患は、いろいろな病態が組み合わさっています。その中でも、新たな国民病とも言われている **CKD**（慢性腎臓病）は、進行すると腎移植や透析療法が必要となるだけでなく、心筋梗塞や脳卒中等の発症リスクも高まります。早期治療が必要であるにも関わらず、初期には自覚症状が少ないため注意を必要とします。**CKD**の進行を予防するために、診療所からの紹介患者さんにも、病診連携にて継続的な治療・指導を行います。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	宇津 貴	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本高血圧学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本医師会認定産業医 医学博士
非常勤医師	桑形 尚吾	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本糖尿病学会専門医

3.診療実績

◆ 外来患者数 1,032 名

糖尿病・代謝内科

1.概要

当科では、主として生活習慣病（糖尿病、脂質異常症、高血圧症、高尿酸血症）の治療を行っています。当院は健診から生活習慣病に対する指導及び適切な診断・治療を行っています。

また、医師を含む他職種で糖尿病教室（月 1 回）を開催しています。患者さんやご家族はもとより、地域の皆様に対して、糖尿病に対する正しい知識の啓蒙を行うとともに、スタッフ一同患者さんへの指導を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	今井 暖	日本内科学会認定内科医
非常勤医師	松井 崇晃	
非常勤医師	楠井 進之介	日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医

3.診療実績

◆ 外来患者数 2,901 名

泌尿器科

1.概要

当科では排尿困難や頻尿、尿失禁などの排尿に関連する症状を訴える方、尿路結石や膀胱炎や腎盂腎炎などの尿路感染症の方など尿検査や腹部超音波検査、血中 PSA 測定などで異常を認める方など多くの患者さんの診療にあたっています。

2021年4月から当院で泌尿器科外来を毎週週1回火曜日に開設して以来、受診される患者さんは日に日に増加傾向にあり、甲南地域における泌尿器科の必要性を改めて認識しております。非常勤での対応のため全ての診療が当院で完結できるわけではありませんが、近隣の泌尿器科と連携し迅速に対応できる体制を構築しております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	吉田 哲也	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会・日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会（腹腔鏡技術認定医） 日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会（泌尿器ロボット支援手術プロクター） 日本がん治療認定医機構（がん治療認定医）

3.診療実績

外来患者数 1,007名

呼吸器科

1.概要

当科は、咳、痰、息切れなどの呼吸器症状を有する患者さんや胸部画像検査で異常を認めた患者さんに対して診療を行っています。対象疾患は、主に肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、気胸、肺がんなどです。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	大塩 恭彦	日本外科学会専門医・指導医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器外科学会評議員 日本呼吸器外科学会胸腔鏡安全技術認定 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会評議員 日本胸部外科学会評議員 関西胸部外科学会評議員 近畿外科学会評議員
非常勤医師	岡本 圭伍	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医・評議員 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 ・評議員 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 近畿外科学会評議員
非常勤医師	片岡 瑛子	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医・評議員 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内科学会認定医

3.診療実績

◆ 外来患者数 325名

外科

1.概要

2019年1月より山本寛医師が就任し、常勤医師は2人体制で外来、手術、化学療法などを担当していましたが2022年12月末をもって山本医師は退任となり外科常勤1人の体制となりました。

2023年4月1日より外科医師の就任が決まっており4月以降常勤医師が2人体制となります。腹腔鏡下手術も積極的に行い、腹腔鏡下胃切除、結腸切除、直腸切除、鼠経ヘルニア修復術、胆のう摘出術などを施行しています。

肥満外科でスリーブ状胃切除術を3例施行しましたが、山本医師退任により2022年12月をもって肥満外科外来を終了しました。

胃癌・大腸癌を中心に再発、切除不能癌の化学療法を入院及び外来で施行しています。膵癌や胆のう癌などについても滋賀医科大学消化器外科講座の協力のもと化学療法を施行しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事	谷 徹	日本外科学会認定医・指導医 日本消化器外科学会認定医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会認定医・指導医 日本アフレスス学会認定専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
院長 外科部長	神谷 純広	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
非常勤医師	森川 茂廣	医学博士 日本消化器外科学会認定医・指導医 日本外科学会認定医
非常勤医師	小島 正継	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医（大腸） 日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本緩和医療学会緩和医療認定医 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 Certificate of da Vinci Console Surgeon(手術支援ロボット da Vinci 認定資格) 日本臨床栄養代謝学会認定医 マンモグラフィ検診制度管理中央委員会マンモグラフィ検診読影認定医

		ICD 制度協議会 (インфекションコントロールドクター) 日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医
非常勤医師	前平 博充	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 (胆道) 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 日本膵臓学会認定指導医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本胆道学会認定指導医 インフェクションコントロールドクター

3.診療実績

- ◆ 外来患者数 3,586 名
- ◆ 入院患者数 411 名
- ◆ 手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	12	5	12	4	7	6	14	9	2	5	0	11	87

乳腺外科

1.概要

当科では、乳腺疾患の診断、乳がんに対する薬物療法、治療後の経過観察を行っています。近年乳がんが話題となり、検診での早期発見例が増えています。

当院では、乳腺超音波検査、マンモグラフィ検査、乳腺 MRI 検査、超音波ガイド下にて細胞診や針生検などを行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	寺村 康史	

◆ 他スタッフ

非常勤医師 1名

3.診療実績

◆ 外来患者数 411名

婦人科

1.概要

当科では、毎週月曜日と水曜日の午前に非常勤医師が婦人科疾患全般（子宮筋腫、月経不順、月経調整、不正出血、おりもの、かゆみ等）や、子宮がん検診の診察を行っています。ただし、婦人科疾患の大きな処置及び入院治療は行っていません。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	尾上 敏子	
非常勤医師	笠原 恭子	日本産婦人科学会専門医 日本女性医学学会認定ヘルスケア専門医

3.診療実績

◆ 外来患者数 1,345 名

整形外科

1. 概要

医療関係者の尽力により、高齢化社会が進むなかでも健康寿命はかなり延伸してきていると感じています。その先に①超高齢のため、日常生活動作の回復が困難な方や ②食事摂取困難となり難渋する方 ③重度の認知症により入院生活が困難となる方など、医療提供が難しい状況に置かれています。人生のゴール設定にもひと際慎重な検討が必要となります。このような患者様、御家族にも安心していただけるよう環境作りを目指したいと考えています。

整形外科診療では、一般的な疾患から専門性の高い疾患まで患者様、御家族のご期待にお応えできるよう、滋賀医科大学から医師をお迎えし、最先端で高度な医療の提供が可能です。また罹患数の多い骨粗鬆症に対して、骨粗鬆症チームを編成し活動の幅を広げています。

2. スタッフ構成

役職	名前	資格
副理事長	磯矢 英士	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本リウマチ学会専門医
整形外科部長	宮本 浩次	日本整形外科学会専門医 日本骨粗鬆症学会認定医
非常勤医師	久保 充彦	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 医学博士 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本人工関節学会認定医
非常勤医師	松末 吉隆	日本リハビリテーション医学会専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本整形外科学会専門医
非常勤医師	森 幹士	日本整形外科学会専門医・代議員 日本脊椎脊髄病学会指導医 日本リウマチ学会専門医 日本脊椎脊髄外科専門医 日本リウマチ財団登録医 日本整形外科学会リウマチ医・認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション医 日本リハビリテーション医学会専門医・指導医
非常勤医師	児玉 成人	日本整形外科学会整形外科専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本手外科学会専門医 日本足の外科学会認定医
非常勤医師	彌山 峰史	日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本脊椎脊髄病学会指導医 中部日本整形外科災害学会評議員
非常勤医師	高村 裕史	日本整形外科学会専門医

◆ 他スタッフ 非常勤医師 1名

3.診療実績

- ◆ 外来患者数
 - 整形外科 12,258 名
 - 膝外来 813 名
 - 脊椎外来 330 名

- ◆ 入院患者数 866 名

- ◆ 手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	24	13	30	25	21	20	27	39	26	30	31	23	309

形成外科

1.概要

当科では、外傷（皮膚損傷）、皮膚皮下腫瘍（いぼ、ほくろ、おでき等）、傷あと、やけど、褥瘡、巻爪、眼瞼下垂、顔面の骨折等の整容的問題の形態回復を図る処置、手術を行っています。また、レーザー治療器を導入し、いぼ、ほくろ、しみなどに対して可能な限り治療を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	吾妻 隆久	日本専門医機構 形成外科専門医

3.診療実績

◆外来患者数 534 名

◆手術件数

皮膚腫瘍摘出術	13 件
皮下腫瘍摘出術	44 件
眼瞼下垂症手術	4 件
全層植皮術	1 件
陥入爪手術	14 件
眼瞼内反症手術	1 件
創傷処理	1 件
耳介形成手術	1 件
皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	1 件
皮膚切開	3 件
鼻骨骨折徒手整復術	1 件
合計	84 件

放射線科

1.概要

当科にて、2013年度に Philips 社製 3T MRI、2015年度に東芝社製 FPD X 線透視装置、2017年度に GE 社製 64 列 Dual Energy CT、GE 社製マンモグラフィ装置（トモシンセシス）、島津社製一般撮影装置、そして 2018年度に ABUS（自動乳房超音波装置）が導入されました。最新の機器設置により最先端の医療に対応可能な画像環境が整えられました。

診療体制は、2018年度より非常勤の放射線診断医が 1 名加わり、計 3 名の体制で画像診断を行っています。当院で撮影される一般診療と健診におけるほぼ全ての画像において即時読影を行うことにより、他科からの依頼に対し質の高い画像診断の迅速な提供を可能にしています。また、近隣の医療機関からの撮影、読影依頼についても同様に対応することで地域医療にも貢献しています。

院内外からの画像診断におけるコンサルトに対応し、院内では、他科の医師を交えての合同画像カンファレンスを定期的に行うことにより画像診断の質のさらなる向上を図っています。今後も地域の皆様の期待に十分応えることができるよう、努力を続けていきたいと思っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
顧問	坂本 力	日本消化器がん検診学会認定医 マンモグラフィ読影認定医
副院長 放射線科部長	田中 豊彦	日本医学放射線学会放射線科専門医・放射線診断専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 乳がん検診超音波読影認定医
非常勤医師	玄正 祥代	日本医学放射線学会放射線科専門医・放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医（評価 AS） 乳がん検診超音波読影認定医（評価 A） 肺がん CT 検診認定医 産業医学ディプロマ 日本医師会認定産業医 医療経営士 2 級

3.診療実績

	撮影件数	（紹介件数）	読影件数
一般撮影	13,589	(0)	8,052
CT	5,208	(654)	5,197
MRI	3,234	(1,051)	3,234
透視検査	854	(0)	756
マンモグラフィ	1,211	(0)	1,042
骨密度検査	1,058	(7)	0
合計	25,154	(1,712)	18,281

麻酔科

1.概要

手術室2室での麻酔業務を中心に、周術期管理に携わっております。麻酔科術前外来も週3日午前中に特殊外来という形で予約を受けております。高齢者の多い地域の実状としましては、術前の体調管理や禁煙などの生活習慣改善の指導、歯牙の異状には歯科医院のご紹介なども行っております。

2022年度の診療報酬改定で、術後疼痛管理チーム加算が算定出来るようになりました。患者さんの術後早期回復の一助となれるよう、手術室関係スタッフ一同研鑽に努めてまいります。

これからも病院内外の皆様からの御協力を得て、より安全な手術治療に貢献できるよう設備・技術を高めてまいりたいと存じます。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
医員	篠原 奈緒	日本麻酔科学会指導医・専門医 麻酔科標榜医 緩和ケア研修会終了 臨床研修指導医講習会終了
非常勤医師	上林 昭景	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医・認定医・専門医
非常勤医師	高畑 一貴	麻酔科標榜医

3.診療実績

◆ 麻酔件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身麻酔	27	9	27	21	19	24	28	41	20	30	30	24	300
脊椎麻酔	2	1	2	1	1	0	1	0	1	1	0	2	12
局所麻酔	10	14	23	13	12	12	15	19	13	11	8	18	168
合計	39	24	52	35	32	36	44	60	34	42	38	44	480

血液浄化センター

1.概要

2011年5月に、広々とした室内に透析装置を計24台完備した、血液浄化センターを開設いたしました。現在は、26台に増床しOnline-HDFにも対応しています。

通院透析の患者さんに対しては、車椅子対応の無料送迎を行っており、月に一度主治医による透析外来にてご家族とともに検査結果や病状の説明を受けていただいております。同時に管理栄養士による栄養指導も行っています。ADL低下や病状進行により通院透析が困難となった場合、長期入院透析にも対応しております。

内シャントの狭窄・閉塞に対しては、心臓血管外科医による経皮的拡張術・新規シャント作成を当院にて行っております。

透析患者さんには心血管合併症が高率に発症しますが、循環器内科医師・心臓血管外科医師が担当していることから、早期に適切な診断・加療が行えます。

また、腎臓内科医師と連携し、新規導入も行っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	
院長	神谷 純広	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

3.診療実績

- ◆ 外来透析回数 9,551回
- ◆ 入院透析回数 1,852回
- ◆ 透析回数・検査等

	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	合計
透析 総回数	954	949	970	991	995	972	965	941	963	915	827	961	11,403
下肢末梢 動脈疾患 指導管理 加算	74	72	74	75	67	72	75	73	72	68	67	70	859

健診センター

1.概要

近年、我が国の健康格差や少子高齢化、癌検診受診率低下が問題になっています。高齢になっても健康で働くために健康寿命が大切で生活習慣病、疾病、フレイル、認知症等の予防をしていく必要があります。そのためには検診が大切です。

当センターでは人間ドック、脳ドック、心臓ドック、乳癌検診、子宮癌検診、膵臓癌検診、生活習慣病健診、特定健診、基本健診、雇用時健診を行っています。癌検診として胃内視鏡、胃透視（胃癌）、便潜血、大腸内視鏡（大腸癌）、マンモグラフィ、乳房超音波、乳癌リスク検査（乳癌）、子宮頸部細胞診、経膈超音波（子宮癌）、MRI(MRCP)、腫瘍マーカー（膵癌）、腹部超音波等の検査を行っています。また、フレイルや認知症予防、アンチエイジングの観点からABI、頸動脈エコー（血管年齢）、骨密度（骨年齢）、MRI（VSRAD）や認知症リスク検査（脳年齢）なども行っています。

市町村の検診では胃透視、胃内視鏡、便潜血、マンモグラフィ、子宮頸部細胞診、胸部レントゲン、骨密度、肝炎ウイルス、ピロリ菌検査も行っています。

健康寿命を延ばすため、病気の早期発見、生活習慣病の改善や予防のため検診を受けることをお勧めします。検診終了後には医師により結果説明と改善点のアドバイスも行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
センター長	上田 浩史	日本医師会認定産業医

◆ 他スタッフ

事務員 6名

3.診療実績

健診項目別受診者数

健診項目	2020年	2021年	2022年
企業健診	1,186	1,123	1,186
生活習慣病予防健診	1,006	1,093	1,153
企業ドック	127	151	150
個人ドック	82	90	86
個人健診	270	341	356
特定健診	706	825	858
協会子宮がん	143	155	184
協会乳がん	115	127	151
合計	3,635	3,905	4,124

市町村検診受診者数

検診項目	2020年	2021年	2022年
肝炎ウイルス	90	100	82
結核	388	439	439
大腸がん	301	444	445
乳がん	692	997	699
子宮がん	421	666	479
ピロリ菌検査	6	10	10
胃がん（胃透視）	184	209	161
胃がん（内視鏡）	0	62	98
肺がん	225	271	272
骨粗鬆症	53	68	36
合計	2,360	3,266	2,721

訪問診療

1.概要

超高齢社会が進む中で、加齢や病気のために、通院が難しくなっておられる方が年々増加しています。がんの終末期や、ALS、慢性心不全、慢性呼吸不全、腎不全の終末期の方なども積極的に診させていただいています。通院が難しい場合でも、医師による診療を在宅で安心して受けて頂けるために訪問診療があります。訪問診療では、ご自宅に定期的に訪問して体調管理や苦痛症状の緩和に努めています。また、急な発熱や体調変化時は往診での対応もしております。

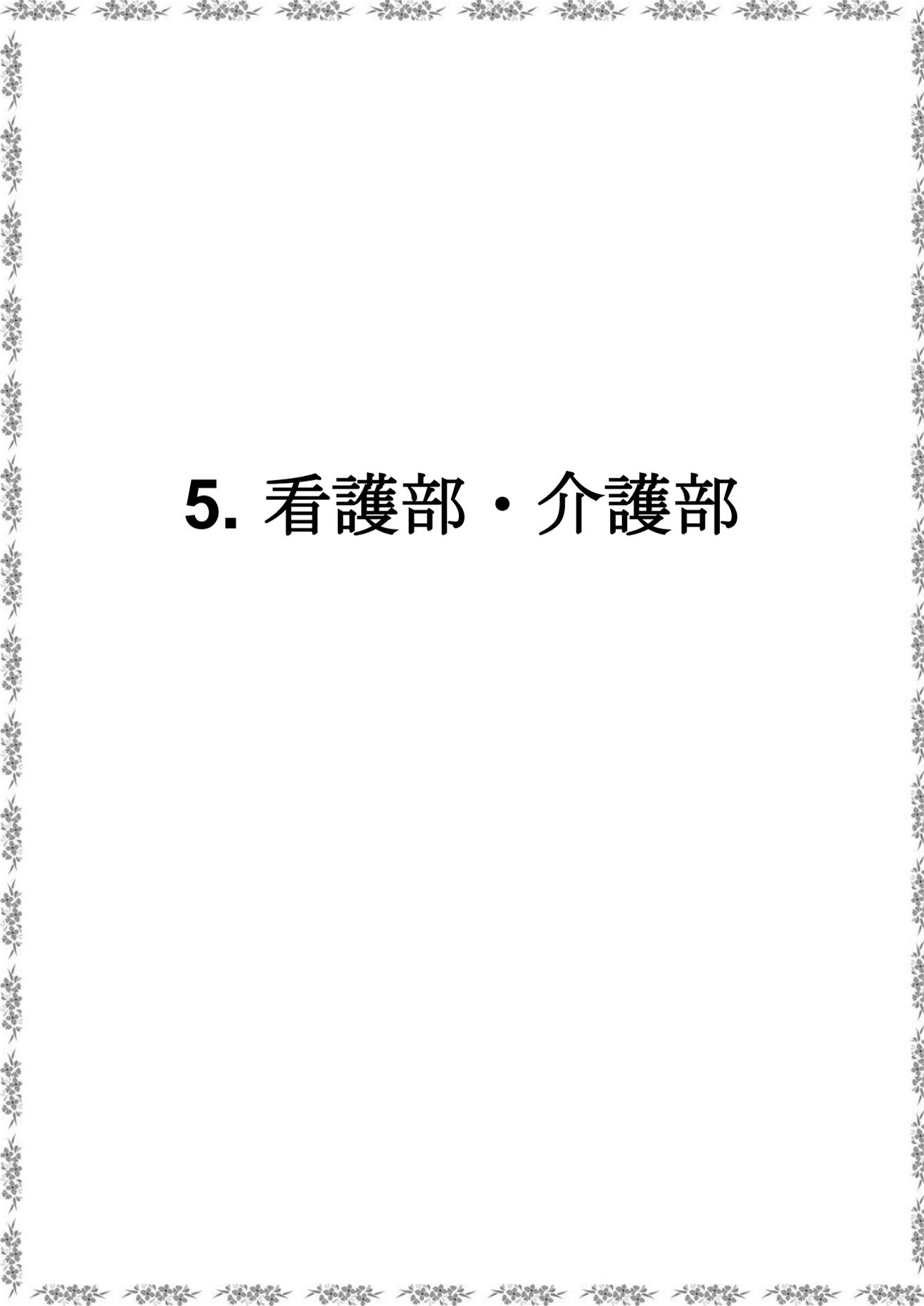
2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事長	古倉 みのり	日本医師会認定産業医 認知症サポート医
医員	米村 岳尚	

- ◆ 他スタッフ
看護師 1名
事務員 1名

3.診療実績

- ◆ 患者数 1,233名
- ◆ 看とり件数 24名

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

5. 看護部・介護部

看護部

1.概要

2022年度の看護部目標は、「患者が安心して療養できる医療の提供・信頼される看護」を目指して力を合わせました。

コロナウイルス感染症対策は日常業務の範疇とし、患者さんを守り自分自身も守り、with コロナでやっていきました。

COVID-19は今までの療養環境を大きく変えましたが、患者の安心安全な医療と看護を継続するために、多職種とのタスクシフトを推進し、「看護」する時間の捻出に努めました。患者さんも職員も不安にならないように、看護師の笑顔を大事に活動しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	役職	名前
看護部長	廣瀬 京子	主任	橘田 千幸
師長	澤 友美	主任	成美 由季子
師長	山中 曜子	主任	川合 祥代
師長	杉浦 和美	主任	西岡 照美
師長	佐藤 春加	主任	杉本 緑
師長	勝谷 真由美	副主任	長野 亜美
師長	甲川 志津子	副主任	久保 奈麻美
副師長	久保 美穂子	副主任	辻 千尋
副師長	荒川 江美		

◆資格

認定看護管理者 1名

感染管理認定看護師 1名

3.活動実績

【タスクシフト・シェア】

患者中心の医療を推進するために、専門職と連携しそれぞれの役割を担えるようにチーム医療の推進に発案を行い実行しました。

【記録時間削減の取り組み】

音声自動入力機器アミボイスを導入し、看護記録や画像の電子カルテへの取り込みを効率化しました。

【オンライン面会の活発化】

オンライン面会を導入し、まる3年が経過し、患者さんやご家族の思いを把握するために自記式質問紙によるアンケートを実施致しました。入院中の患者さんにご家族を繋ぐ役割を再認識しています。

【感染管理室の立ち上げ】

感染管理認定看護師を配置し、全体の感染管理の質の向上に努めました。

【申し送り時間の短縮】

業務改善の一環で、申し送り時間の撤廃あるいは短縮で、ベッドサイドに向かう時間を早めることが出来ました。患者中心の看護展開の一助としました。

【看護大学・看護師養成所への Web 訪問】

コロナ禍による院外活動縮小の延長を受け、リクルート活動は Web 訪問と Web 見学会を積極的に開催しました。人材確保は常に危機感をもって向き合っています。

【中高生への看護師体験、コロナ禍でも継続】

今年度も県内の中高生 50 名以上を集め、看護師を目指す学生を増やすことに尽力しました。患者さんやご家族からのお礼の手紙を掲示したり、看護師のやりがいをアピールしました。

【講演活動】

看護師養成所 2 校への講義や滋賀県看護協会での講演を行い、教育活動に尽力しました。

【新聞紙 2 社への掲載】

看護部主催イベント（看護体験）の開催に取材を受け、甲南病院の広報活動に貢献しました。

【人材確保活動】

滋賀県主催の甲賀圏域看護職員確保対策ワーキングのメンバーになり、人材確保対策について意見交換しながら活動しました。

【看護部委員会活動】

看護記録委員会	月 1 回
看護教育委員会	月 2 回
看護手順委員会	月 1 回
薬剤管理	月 1 回（主任・副主任）
物品管理	月 1 回（主任・副主任）

【実習生受入状況】

期間	学校名	人数
11 月 21 日～12 月 6 日	滋賀県堅田看護専門学校	4 名

4.学術・研修活動

1) 学術発表

開催日 2022 年 11 月 8.9 日

研修会 第 53 回日本看護学会学術集会

開催地 幕張メッセ

発表者 廣瀬京子

題名 新型コロナウイルス感染拡大により患者とその家族に実施したオンラインによる面会の効果

2) 研修活動

◆ 院外研修

開催日	研修会	開催地	参加者
6月7日、17日	新人看護職員交流会	滋賀県看護協会研修センター	8名
6月11日、22日	プリセプター研修	滋賀県看護協会研修センター	6名
6月20日	看護研究に取り組もう ～看護研究のプロセスを理解しよう～	滋賀県看護協会研修センター	1名
6月28日	卒業生・教員との交流会	堅田看護専門学校	1名
7月8日	コミュニケーションスキルを獲得しよう ～相手の思いを引き出し、大切な自分の 思いを伝えるために～	滋賀県看護協会研修センター	2名
7月15日	看護職として成長するために ～社会人基礎力を学ぼう～	滋賀県看護協会研修センター	1名
4月12日～ 7月31日	心不全療養指導士受験 eラーニング	日本循環器学会	1名
8月4日	外来・診療所の強みを活かした看護実践	滋賀県看護協会研修センター	1名
8月6日	看護職員感染対策研修会	滋賀県看護協会研修センター	1名
8月10日	看護過程をもう一度学ぼう	滋賀県看護協会研修センター	1名
8月26日	看護倫理	滋賀県看護協会研修センター	1名
7月28日～30日	重症度、医療・看護必要度 評価者および 院内指導者研修	Web開催	2名
8月22日	チームメンバーとしての役割を發揮する ために	滋賀県看護協会研修センター	1名
8月30日	ラダー別研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
9月5日	看護実践能力「ケアする力」	滋賀県看護協会研修センター	2名
9月10日	看護実践が見える看護記録	滋賀県看護協会研修センター	2名
9月12日	エンパワリングを理解し実践に繋げる	滋賀県看護協会研修センター	1名
9月21日	口腔ケアについて学ぼう	滋賀県看護協会研修センター	2名
9月25日	看護管理者のスタッフ看護師へのエン パワリング行動	滋賀県看護協会研修センター	1名
9月26日	医療安全について	滋賀県看護協会研修センター	2名
10月3日	地域包括ケア時代の継続看護 I	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月6日～31日	新人看護職員研修教育担当者研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月12日、13日	中心的立場で活躍するためのリーダー シップ	滋賀県看護協会研修センター	2名
10月15日	医療安全シンポジウム	京都府看護協会	1名
10月19日、20日	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月21日	意思決定プロセス支援とアドバンスケ アプランニングの重要性	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月26日	慢性心不全患者の生活調整に向けた看 護	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月26日	誤嚥性肺炎予防 口腔ケア	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月26日 ～11月2日	新人看護職員研修責任者研修	滋賀県看護協会研修センター	1名

10月27日	モヤモヤと苦手をクリアしてチームで前進！	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月30日	腎臓リハビリテーションガイドライン講習	Web開催	2名
11月7日	看護倫理～日々の看護場面における倫理的ジレンマについて考えてみよう～	滋賀県看護協会研修センター	2名
11月8日	フォローアップ研修・交流会気づきと学びから前向きな変化へ	長寿福祉センター	1名
11月8日、9日	日本看護学会学術集会	日本看護協会	3名
11月11日	3年目看護職員研修会	滋賀県看護協会研修センター	1名
11月16日	滋賀県 ガイドブック作成	カフェマン	1名
11月17日	医療安全について	近畿厚生局	1名
11月25日	明日から活かせるフィジカルアセスメント	滋賀県看護協会研修センター	2名
11月28日	災害時の看護を考える	滋賀県看護協会研修センター	1名
11月29日	医療安全対策研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
11月30日	多職種連携で力を発揮するためのマネジメント	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月1日	診療所・外来で働く看護職対象 認知症対応力向上研修会	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月3日	医療安全管理者養成研修 集合研修	大阪府看護協会	1名
12月7日	糖尿病について学ぶ	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月8日	看護研究実践報告発表	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月8日	コロナから私たちは何を学んだか	滋賀県看護協会研修センター	2名
12月8日	看護師が知っておきたい経管栄養とセーフティマネジメント	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月9日	医療安全管理者養成研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
1月17日	新人看護職員研修責任者教育担当者フォローアップ研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
1月20日	Z世代の特徴と対応への理解	京都橘大学梶谷先生	1名
2月7日	慢性期・療養型病院に従事する看護職実践力向上に向けた看護師長交流会	滋賀県看護協会研修センター	2名
2月7日	介護の仕事を始めてからの1年間を振り返り、職場を越えたつながりを作る	社会福祉協議会	1名
2月25日	看護研究発表会研修	Web開催	1名
2月25日	滋賀県感染管理者情報交換会	滋賀医大附属病院	1名
3月5日	今後の新興感染症の可能性やこれからの感染対策を考える	大阪工業大学 OTT 梅田タワー常翔ホール	1名

介護部

1.概要

2022年度の介護部は「地域医療、介護福祉施設と連携し安全で質の高い介護を提供し、離床促進に向けたチャレンジを行う」を目標に活動をしました。新型コロナウイルスの感染予防を行い患者さんが安心して静養して頂けるように務めました。またケアの時間を充実できるように他職種と連携し業務改善を行いました。

患者さんに笑顔で寄り添い、質の高い介護を日々提供できるように活動します。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
係長	中森 辰徳	介護福祉士
主任	中村 幸代	介護福祉士
主任	渡邊 沙代	介護福祉士
主任	土山 健	

3.活動実績

・介護職初任者研修実習受入状況

期間	学校名	人数
9月 9日 13日	ユウコム草津校	2名
12月 12日	ユウコム草津校	1名
2月 9日	ユウコム草津校	1名

・介護体験開催

開催日	開催名	参加人数
11月 5日	介護の日 介護体験	10名

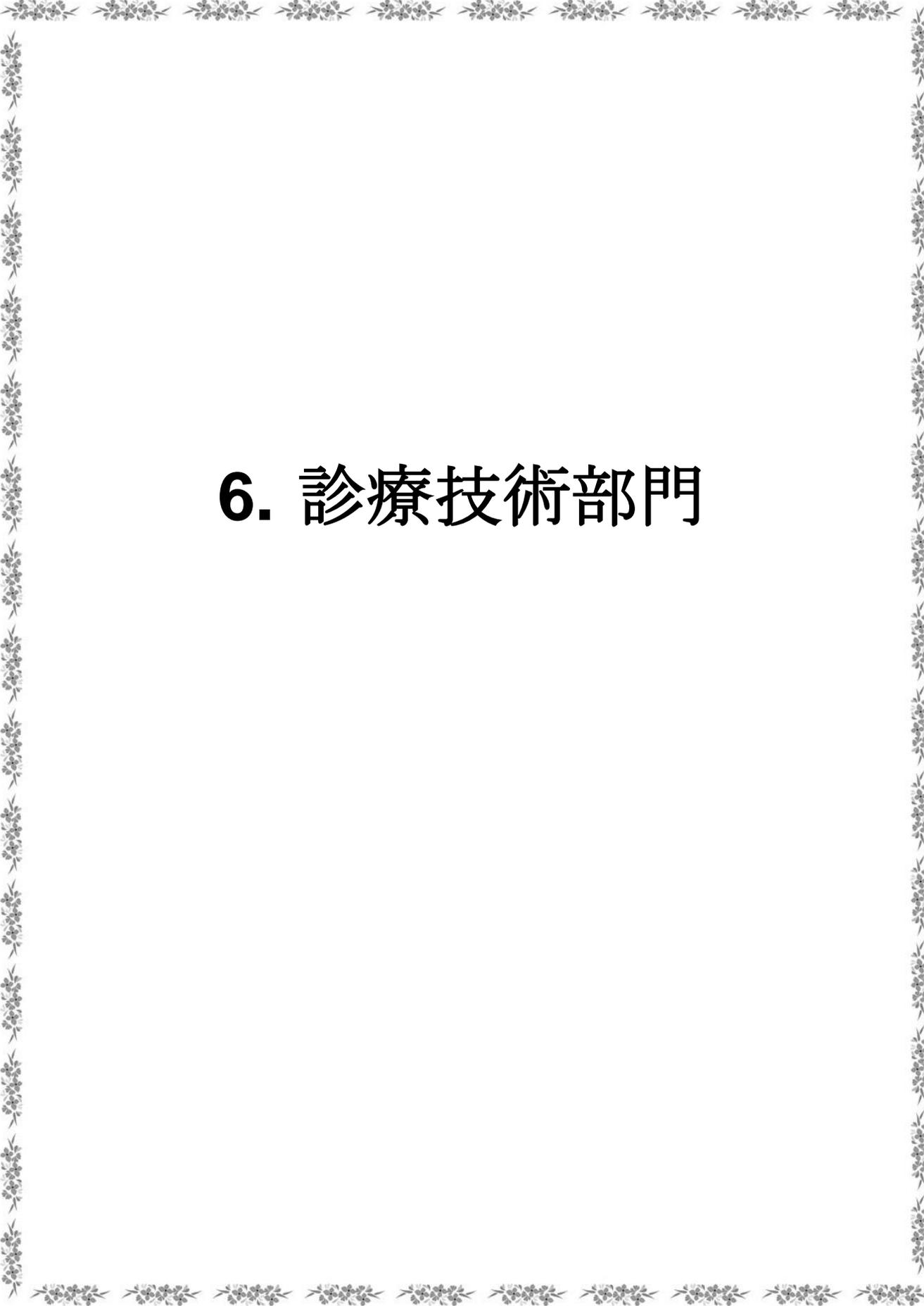
4.学術・研修活動

・研修活動（院内）

開催日	研修目標	研修内容	参加人数
7月 1日～31日	組織について学ぶ	病院内での介護部の組織・役割について	51名
6月 2日～ 8日	医療安全について学ぶ	患者誤認による重大事故対策を中心に	53名
9月 5日 7日～ 8日 14日、17日	感染対策について学ぶ	手指衛生の重要性	52名
8月 1日～31日	接遇について学ぶ	基本的なマナー 相手を尊重した関わり方 看護補助者としての責任ある対応	54名
10月 1日～31日	介護技術について学ぶ	車椅子での移動・移送 排泄介助 おむつ交換	54名
11月 1日～30日	業務の理解について学ぶ	チームの一員としての看護補助者 業務の理解、チーム医療の一員となる為の役割と責任	52名
12月 1日～31日	守秘義務についての学習	職業論理と個人情報保護・守秘義務	51名

・研修活動（院外）

開催日	研修内容	参加人数
2月 7日	しが介護の職場職員 新任職員フォローアップ研修	1名
3月 14日	中堅期職員研修 新人職員への関わり・サポートについて	1名

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

6. 診療技術部門

薬剤部

1.概要

薬剤部は「地域の皆様が安心・信頼・満足を得られる医薬品情報を提供する」という理念を基に、薬のリスクマネージャーとして医薬品の適正使用に努め、安全で高度な医療を提供することで患者さんが安心して服薬できる環境作りを目指しています。

◆ 薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務

「病棟薬剤業務実施加算」の算定をしており、入院患者さんへ安全に薬を届けるため、また看護師に対する負担軽減の一環として配薬カートへの配薬を行い、安全で明瞭な医薬品管理をしています。またポリファーマシー対策の一環として「薬剤総合評価調整加算」の算定もしており、多職種での病棟カンファレンスや病棟担当薬剤師での集中的なカンファレンス等で減薬が可能な患者さんについて話し合い、患者さんの服用薬剤を減らすことで、残薬調整や過剰服用防止による薬剤費・医療費の削減、多剤服用による有害事象の発現を抑制することに繋がっています。

入院患者さんへの積極的な関わりを進めるために各病棟に病棟担当薬剤師を配置しています。また2023年3月より2A病棟の病棟薬剤師常駐を開始しましたので、急性期病棟2病棟で薬剤師の病棟常駐を行っています。病棟常駐をすることで身近な場所で患者さんと接することができ、状態把握や服薬指導に力を入れることが出来ています。そのこともあり初回指導率は月平均99.2%となっています。また医師の処方オーダーの代行依頼や、看護師の配薬業務サポートなど、業務のタスクシフト・タスクシェアをすることが出来ています。

病棟担当薬剤師と医薬品情報担当薬剤師とのカンファレンスを定期的に行い、また多職種ミーティングにも参加して情報を共有・発信することで、患者さんやご家族のご希望に出来る限り沿った薬剤管理を提案・実施することが出来ました。

◆ チーム医療への参加

ICTに参加し、抗菌薬の種類ごとの使用量の状況を検証して適正使用を推進し、TDM解析による抗菌薬の適正投与量の設計、院内ラウンド等も行っています。またNSTや褥瘡対策チームにも参加しており、TPN・PPN、経腸栄養などについて薬学的アドバイスをを行いました。

◆ 新型コロナ感染症への関わり

新型コロナワクチンの接種が開始となり、薬剤部でワクチンの保管管理及び調製を行いました。調製の手技を統一し、ワクチンを適正な量で、かつ衛生的に患者さんに接種していただくことを心がけて取り組みました。

◆ 学術活動

甲賀市及び湖南市を中心とした地域における漢方医薬の知識向上のために「甲賀湖南漢方医学研修会」を開催しています。各医療機関の医師や薬剤師などの医療従事者が集まり連携することで、地域医療の発展に寄与出来るものと考えています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	渡邊 優輔	日病薬生涯研修認定薬剤師
主任	大原 久詞	日病薬病院薬学認定薬剤師

◆ 他スタッフ

薬剤師 9名
事務職員 4名

3.診療実績

◆ 外来処方箋枚数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
外来処方箋枚数	38,155	44,276	46,226
院外処方箋枚数	35,199	40,842	43,114
院内処方箋枚数	2,956	3,434	3,112
院外処方箋発行率 (%)	92.2	92.2	93.3
外来注射箋枚数	7,563	7,585	6,656

◆ 入院処方箋枚数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
入院処方箋枚数	18,338	18,224	22,986
入院注射箋枚数	35,216	48,324	34,320

◆ 指導件数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
外来指導件数	2,728	2,871	2,772
入院指導件数	4,412	3,699	4,017
薬剤管理指導料算定件数	1,869	1,388	722
退院時薬剤管理指導料算定件数	467	302	182

※2022 年度中に地域包括ケア病床 20 床の増床あり。

4.学術・研修活動

1) 学会発表・研修会発表・講師

開催日	研修会	開催地	発表者
2月9日	令和4年度医療安全研修会（プレアボイド報告研修会） 「当院におけるプレアボイド事例報告」	Web開催	福田

2) 院外研修、勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
通年	日病薬病院薬学認定薬剤師研修 e-ラーニング受講	Web開催	6名
4月15日	Insulin WEB Conference	Web開催	1名
4月19日	EVENITY Web Symposium	Web開催	1名
5月13日	薬剤師のためのスキルアップセミナー	Web開催	1名
5月19日	AST・ICT IMPROVING SKILL SEMINAR	Web開催	1名
5月19日	BRIDGE Forum in 甲南	Web開催	5名
5月21日	KAMPO 水セミナー	Web開催	1名
5月26日	GLP-1 Seminar in Shiga	Web開催	1名
6月8日	Ondexxya TV Symposium	Web開催	1名
7月14日	滋賀県薬業連携研修会	Web開催	1名
7月20日	KOWA WEB カンファレンス	Web開催	1名
7月28日	KOWA WEB カンファレンス	Web開催	1名
8月9日	DI リテラシー向上 WEB セミナー	Web開催	1名
8月18日	不眠症・感染症インターネット講演会	Web開催	1名
8月20日	滋賀県病院薬剤師会 学術大会	Web開催	2名
8月24日	糖尿病・感染症インターネット講演会	Web開催	1名
8月25日	京都北部&南部 糖尿病 Update	Web開催	1名
9月1日	KAMPO SEMINAR in 滋賀医大	Web開催	1名
9月2日	腸内微生物の Up To Date!	Web開催	1名
9月15日	滋賀県薬業連携研修会	Web開催	1名
9月21日	滋賀県病院薬剤師会 湖北東・湖南西合同研修会	Web開催	1名
9月22日	滋賀県病院薬剤師会 湖北東・湖南西合同研修会	Web開催	1名
9月28日	滋賀県病院薬剤師会 薬剤業務・災害対策委員会研修会	Web開催	1名
11月2日	滋賀県がん薬物療法 Conference	Web開催	1名
11月10日	不眠症診療 WEB セミナー	Web開催	1名
11月17日	滋賀県病院薬剤師会 感染制御委員会研究会	Web開催	1名
11月18日	滋賀県病院薬剤師会 湖北東・湖南西合同研修会	Web開催	1名
11月30日	滋賀県病院薬剤師会 学術講演会	Web開催	1名
12月3日	滋賀県病院薬剤師会 秋のセミナー	Web開催	1名
12月15日	滋賀県薬業連携研修会	Web開催	1名
12月16日	滋賀県病院薬剤師会 湖北東・湖南西合同研修会	Web開催	1名
1月14日	滋賀 CKD ネットワーク研究会	Web開催	1名
1月18日	滋賀県病院薬剤師会 湖北東・湖南西合同研修会	Web開催	1名
1月19日	滋賀県病院薬剤師会 医薬品情報研修会	Web開催	1名
1月21日	令和4年度医薬品安全管理責任者等講習会	Web開催	1名
2月1日	滋賀県がん薬物療法 Conference	Web開催	1名
2月2日	滋賀県薬業連携研修会	Web開催	1名
2月9日	令和4年度医療安全研修会（プレアボイド報告研修会）	Web開催	6名
2月16日	滋賀県病院薬剤師会 中小療養診療所委員会研修会	Web開催	2名
2月22日	滋賀県病院薬剤師会 湖北東・湖南西合同研修会	Web開催	1名
3月16日	VPD Online セミナー	Web開催	1名
3月23日	神経救急 Expert Web Conference	Web開催	1名

3) 公開セミナー、その他

開催日	会名	開催地	発表者
5月16日	糖尿病教室「糖尿病治療を支える薬～内服薬～」	甲南病院	福田
7月11日	糖尿病教室「災害と糖尿病について」	甲南病院	大原
11月21日	糖尿病教室「インスリン注射について知ろう」	甲南病院	武藤
2月20日	糖尿病教室「調子が悪い時の薬、どうしていますか？」	甲南病院	近藤

臨床検査部

1.概要

COVID-19 対応では、患者さんと職員・職員家族の安心の為に柔軟な対応と迅速な結果報告に努め貢献できるように臨床検査部一丸となって業務に当たりました。

検体検査では検尿検査装置を更新し、泌尿器科や腎臓内科から頂いた多くの検査も正確に報告するように努めました。また、検査システムを活用することで異常値報告漏れや結果報告遅延を無くすように努めました。

生理検査では、超音波検査所見の記入の再検討を行い、統一された結果をお返しし、診療に貢献することに努めました。3月には超音波検査装置を1台更新し、心臓超音波検査も2台体制で検査をすることが出来るようになり、心臓超音波検査の待ち時間を短縮することができました。

昨年度以上に外部のWeb開催された研修や学会へ多数参加し、知識や技術の向上に努めました。また、院内研修では部内症例検討会や部内勉強会に力を入れ、部内での知識の共有とレベルUPを図ることに努めました。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	重田 美千代	抗酸菌エキスパート
係長	大原 麻美	
主任	森地 由美	

◆ 他スタッフ

臨床検査技師 常勤 9名
非常勤 1名

◆ 他資格

認定心電検査技師
日本糖尿病療養指導士
二級臨床検査士(臨床化学)
医療情報技師
診療情報管理士
第一種衛生管理免許

3.診療実績

【生理検査】

	2020年度	2021年度	2022年度
超音波検査	3,908件	4,375件	4,366件
ABI検査	657件	679件	595件
肺機能検査	533件	503件	35件
心電図検査	5,719件	5,844件	5,852件
神経伝導検査	222件	159件	204件
脳波検査	12件	22件	12件
眼底検査	572件	638件	549件
眼圧検査	380件	409件	402件

【検体検査】

	2020年度	2021年度	2022年度
生化学検査	487,011件	495,743件	501,306件
輸血検査	1,500件	1,487件	1,581件
血液検査	45,726件	49,036件	47,619件
尿検査	12,540件	14,362件	15,056件
免疫検査	19,263件	22,172件	25,876件
POCT	1,089件	1,045件	3,452件
凝固検査	9,391件	10,585件	9,818件

4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月15日	尿沈渣研究会 白血球と細菌の見方	Web開催	1名
4月19日	アステラス製薬 2022年度診療報酬改定 二次性骨折予防に係る評価のポイント	Web開催	1名
4月23日	心電図研究所合同会社 心電図の基礎から3歩ススムセミナー	Web開催	1名
3月25日～ 4月28日	キャノン 関西 Aplio CLUB	Web開催	2名
4月14日～ 4月16日	KCJL事務局 近畿心血管治療ジョイントライブ2022	Web開催	1名
5月9日	日臨技 e-ラーニング 一般検査 症例検討	Web開催	1名
5月10日	日臨技 e-ラーニング 輸血検査 血液型検査のトラブルシューティング	Web開催	1名
5月21日～ 5月22日	日臨技 第71回日本医学検査学会	大阪府	3名
5月20日	日臨技 認定認知症領域検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 part XI	大阪府	1名
6月5日	滋臨技 輸血検査 基礎講習	Web開催	1名
6月11日	滋臨技 尿沈査検査の基礎	Web開催	1名
6月12日	NPO シリーズ2 超音波診断病理の所見で気付くこと	Web開催	1名
6月16日	滋臨技 第1回臨床生理研修会 初心者向け心電図研修会①	Web開催	1名
6月16日	シスメックス XN シリーズ カスタマートレーニングライブ講習会①	Web開催	1名
6月18日	滋臨技 第1回臨床血液部門研修会 凝固検査について	Web開催	3名
6月19日	日本電子 BM セミナー	Web開催	1名
6月23日	滋臨技 第2回臨床生理研修会 初心者向け心電図研修会②	Web開催	1名
6月28日	日本光電 発作間欠期の脳波	Web開催	1名
6月29日	シスメックス XN シリーズ カスタマートレーニングライブ講習会②	Web開催	1名
4月1日～ 6月30日	市立大津市民病院 医療従事者向け公開講座 「成人先天性心疾患－外科医の立場から－」	Web開催	5名
7月5日	シスメックス XN シリーズ カスタマートレーニングライブ講習会③	Web開催	1名
7月9日	滋臨技 第1回臨床免疫化学検査部門 血液ガス関連	Web開催	2名
7月14日	滋臨技 臨床生理研修会 ABIについて	滋賀県	1名
7月14日	シスメックス 凝固検査 カスタマートレーニングライブ講習会	Web開催	1名
7月24日	滋臨技 輸血実技講習	滋賀県	1名
7月27日	シスメックス HISCL シリーズ カスタマートレーニングライブ講習会	Web開催	1名
7月30日～ 7月31日	第23回日本検査血液学会学術集会	Web開催	1名
8月6日	滋臨技 第2回臨床免疫化学検査部門研修会 免疫化学基礎セミナー(免疫検査編)	Web開催	2名

8月18日	シスメックス XNシリーズ カスタマートレーニングライブ講習会④	Web開催	1名
9月9日	京都循環器検査研究会 心肥大の心エコー評価について	Web開催	1名
9月10日	滋臨技 第3回臨床一般部門研修会 尿沈渣検査	Web開催	1名
9月29日	キャノン あすか甲状腺セミナー7in 関西	Web開催	1名
10月3日～ 11月7日	BIO RAD ABO血液型 オモテ・ウラ不一致時の対処法	Web開催	3名
10月7日	滋臨技 輸血検査に影響を与える抗体医薬品 抗CD38、抗CD47について	Web開催	1名
10月7日～ 10月9日	日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会 第54回 日本医療検査科学会	兵庫県	1名
10月15日	日臨技 臨床免疫化学部門研修会 ～検査センターに おける業務と精度管理・再検方法と顧客対応～	Web開催	1名
10月15日	日本電子 TERAKOYA2022 第1回	Web開催	1名
10月22日	滋臨技 臨床免疫化学部門研修会 ～生化学・免疫検査項目について幅広く学びましょう～	Web開催	1名
10月22日	滋臨技 臨床免疫化学部門研修会 ～生化学・免疫検査項目について幅広く学びましょう～	Web開催	1名
10月23日	日臨技 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣 指定講習会 実技講習	滋賀県	2名
11月5日	日本糖尿病学会/協会 第59回日本糖尿病学会近畿地 方会 第58回日本糖尿病協会近畿地方会	兵庫県	1名
11月12日	日本電子 TERAKOYA2022 第2回	Web開催	1名
11月13日	滋臨技 検査と健康展 美しく知ろう臨床検査!! 体のヒミツを見てみよう!	滋賀県	1名
11月17日	滋賀保健研究センター 第97回産業安全衛生講習会	Web開催	1名
11月26日	滋臨技 臨床免疫化学部門研修会 臨床検査技師の更なる活躍の場所を求めて ～肝炎医療コーディネーター～	Web開催	2名
12月3日～ 12月4日	日臨技 日臨技近畿支部 医学検査学会	Web開催	2名
12月10日	滋臨技 精度管理血液部会報告会 第3回臨床血液部門研修会 ～症例検討会～	Web開催	1名
12月11日	日臨技近畿支部 輸血検査研修会 ～対応力ある輸血医療を目指して～	Web開催	1名
12月12日	ヤンセンファーマ株式会社 健診・検査に潜む気象疾患 Webセミナー	Web開催	2名
12月17日	日本電子 TERAKOYA2022 第3回	Web開催	1名
12月23日	滋臨技 令和4年度 生理部会精度管理報告会	Web開催	1名
12月23日～ 1月6日	滋臨技 令和4年度 一般検査部会精度管理報告会	Web開催	2名
12月26日	キャノン 下肢静脈瘤エコー	Web開催	1名
1月14日	日臨技/滋臨技 認知症関連検査を学ぶ ～タスクシフトに向けて～	Web開催	1名
1月15日	日臨技近畿支部 血液疾患の類似形態・類縁疾患と放射 線画像の基礎について学ぼう	Web開催	1名
1月16日～ 1月30日	滋臨技 令和4年度臨床免疫化学部会精度管理報告会	Web開催	1名
1月19日～ 2月18日	滋臨技 病棟業務とタスク・シフト/シェア推進講習会	Web開催	1名
1月21日	日本電子 TERAKOYA2022 第4回	Web開催	1名

1月24日	富士フィルムヘルスケア Web セミナー	Web 開催	1名
1月25日～ 2月8日	日臨技 令和4年度輸血部会精度管理報告会	Web 開催	1名
1月31日	日臨技 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	Web 開催	1名
2月10日	滋賀県(糖尿病療養指導充実支援事業)・MSD株式会社 びわ湖生活習慣病ケア研究会 2023	Web 開催	1名
2月11日	富士フィルム 関西乳腺エコーユーザー会	Web 開催	1名
2月12日	滋臨技 第45回滋賀県医学検査学会	Web 開催	3名
2月13日	アイテック阪急阪神株式会社 ～感染対策に新たな目線を～	Web 開催	1名
2月18日	日本電子 TERAKOYA2022 第5回	Web 開催	1名
2月26日	日本電子 BM セミナー	Web 開催	1名
3月11日	滋賀県輸血療法委員会 令和4年度滋賀県血液製剤適正使用研修会	Web 開催	1名
3月12日	日臨技 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 実技講習会	滋賀県	2名
3月23日	糖尿病検査セミナー2023 大阪	Web 開催	1名
3月25日	滋臨技 施設代表者会議	Web 開催	1名
3月31日	キャノン 第2回 US エキスパート養成セミナー	Web 開催	1名

2) 糖尿病教室

開催日時	内容	開催地	発表者
6月20日	糖尿病と動脈硬化	甲南病院	加地
1月16日	糖尿病と感染症	甲南病院	加地

3) 院内研究発表会

11月22日	富士ドライケム NX10N による血中アンモニア値の経時的変化と保存状態による比較検討日臨技	北野
--------	--	----

4) 部内勉強会

開催月	内容	講師
4月	院内感染関連微生物とその検査法	中村
5月	甲状腺・副甲状腺	北山
6月	統計について	河合
7月	今から使える 症例から学ぶ貧血の見方・考え方	森地
8月	輸血 症例	加地
9月	尿沈査 上皮	三雲
10月	苦手克服！臨床検査技師が知っておくべ血液ガス分析	中島
11月	血中アンモニアの経時的変化	北野
12月	認知症	青木
1月	副腎腫瘍	中井
2月	耐性菌	重田
3月	眼底検査	大原

5) 心エコー症例検討（講師：循環器医師）

開催日時	内容
5月13日	post TAVI 弁周囲逆流、肺癌の心膜浸潤など
7月1日	心膜炎、LA内 mass 様エコー像など
10月7日	TAVI 評価、AML 付着物、ファロー四徴症など
10月14日	IVS 壁肥厚
1月6日	LA内塊状エコー像など

6) 心電図症例検討（講師：循環器医師）

開催日時	内容
10月7日	補充収縮について、PAC ショートランなど
10月14日	粗動、電解質異常など
1月6日	亜急性の前壁梗塞、左脚ブロックと正常波形を繰り返す症例など

放射線部

1.概要

2022年度の放射線部は、産休育休で人員が減少した時期もありましたが女性技師を1名増員し、マンモグラフィは検査をお断りすることなく検査を実施、乳腺エコー（ABUS）に関しても臨床検査部にも協力いただき検査を行うことが出来ました。

装置に関しては、4月にPACSサーバーの更新、線量管理システムの導入を行いました。線量管理システムを導入したことで、CTや心カテ検査での被ばく線量の把握、分析が容易になり、線量の見直しを行うことで被ばく線量低減に努めることが出来ました。

学術・研修活動においては、部内勉強会の開催を予定していましたが予定していた回数を実施することが出来ませんでした。次年度は放射線科医にも協力していただいて、定期的に症例検討会を行うことを計画しております。若手技師も増えたので、知識の均等化を図り部内全体のレベルアップを目指していきたいと思っております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	大原 久弥	磁気共鳴専門技術者 医療情報技師 シニア放射線技師 放射線管理士 放射線機器管理士 医療画像情報精度管理士
係長	小崎 一雄	X線 CT 認定技師 肺がん CT 検診認定技師 シニア放射線技師
主任	中嶋 高明	胃がん検診専門技師 胃がん X線検診 技術部門 B 資格 胃がん X線検診 読影部門 B 資格 シニア放射線技師

◆ 他スタッフ

診療放射線技師 5名
事務職員 1名

◆ 他資格

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 2名
日放技 基礎技術 X線 CT 検査
日放技 基礎技術 MRI 検査
日放技 基礎技術 一般撮影

3.診療実績

検査項目	2020年度	2021年度	2022年度
一般撮影	13,254件	13,930件	13,589件
CT	5,174件	5,446件	5,208件
MRI	3,088件	3,305件	3,234件
透視検査	825件	987件	854件
マンモグラフィ	1,134件	1,463件	1,211件
骨密度検査	1,028件	1,056件	1,058件

4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月27日	茨木大腸CT研究会	Web開催	1名
6月10日～12日	日本消化器がん検診学会総会	Web開催	1名
6月16日	Philips MR virtual Summit	Web開催	1名
6月30日	第31回関西 GECT 研究会	Web開催	2名
7月1日	滋放技消化器画像研究会	Web開催	1名
7月8日	滋放技MR研究会	Web開催	1名
8月31日	ゲルベ・ジャパン株式会社WEBセミナー	Web開催	1名
9月1日	Cyber DECT 13th Meeting	Web開催	1名
9月9日～11日	磁気共鳴医学会	Web開催	1名
9月22日	第100回多摩画像研究会	Web開催	1名
10月12日	ゲルベ・ジャパン株式会社WEBセミナー	Web開催	1名
10月15日	北勢消化器画像研究会	Web開催	1名
11月14日	滋放技消化器画像研究会	Web開催	1名
11月22日	滋放技甲賀支部研修会・総会	滋賀県	4名
11月24日	滋放技第2回学術研修会	Web開催	1名
12月2日	滋放技MR研究会	Web開催	2名
12月7日	滋放技乳腺画像研究会	Web開催	3名
12月8日	BRIDGE Forum in 甲南	Web開催	4名
12月14日	第3回バーチャルイベント	Web開催	1名
12月17日	第7回山形ERイメージングWebinar2022	Web開催	1名
1月19日	第32回関西 GECT 研究会	Web開催	1名
1月27日	滋放技MR研究会	Web開催	2名
1月31日	滋放技CT研究会	Web開催	1名
2月19日	第2回JSNETオンラインセミナー	Web開催	1名
2月25日	第11回埼玉県大腸CT研究会	Web開催	1名
2月25日	日本消化器がん検診学会 近畿支部 放射線研修会	Web開催	1名
2月28日	滋放技CT研究会	Web開催	4名
3月24日	埼玉消化管撮影研究会	Web開催	1名
3月26日	滋賀県消化器（胃）がん検診従事者講習会	Web開催	1名

2) 院内症例検討会

6月22日	消化器症例検討会	2名
7月7日	消化器症例検討会	2名
9月1日	消化器症例検討会	2名

3) 部内勉強会

2月14日	急性期脳梗塞 CTとMRIの比較	5名
2月21日	消化管穿孔（十二指腸）	6名

リハビリテーション部

1.概要

当院リハビリテーション部は、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、脳血管リハビリテーション料（Ⅰ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）、心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、がん患者リハビリテーション料の基準を有しております。地域包括ケア病床、療養病床入院患者さんをはじめ、外来リハビリテーション、外来心臓リハビリテーションも実施しており、急性期から維持期まで多岐に渡りリハビリテーションを実施しております。

地域包括ケア病床では、急性期治療後すぐに在宅や施設へ戻ることによる不安がある患者さんに対し、在宅復帰支援計画に基づき、充実したリハビリテーションを実施しております。療養病床では、拘縮予防目的のみのリハビリテーションだけでなく「車椅子に乗車出来る」「ご自身で食事を食べられる」など明確な目標を立ててリハビリテーションを行い、可能であれば在宅や施設への退院を多職種で連携して支援させて頂いております。

当院リハビリテーション部では、安心、安全に自宅に退院していただけるよう関係者を含む多職種でのカンファレンスや退院前自宅訪問を積極的に実施しております。また退院後の生活に課題がある方や機能維持が必要な患者さんに対しては、訪問リハビリテーションに引き継ぎ退院後の生活における不安を解決できるように尽力しております。リハビリテーションの質の向上のために定期的な勉強会や症例検討会を実施し、より患者さんに満足していただけるリハビリテーションを提供できるように努めております。

また、昨年度から骨粗鬆症、尿漏れ対策、腎臓・透析リハビリテーション、心不全療養指導、糖尿病対策などのプロジェクトチームに参加しております。研修会への参加や資格の取得を行い、患者さんのより良い暮らしを提供できるように努めてまいります。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	玉木 義規	作業療法士 畿央大学大学院 健康科学研究科 修士課程修了
主任	杉田 裕市	理学療法士 心臓リハビリテーション指導士
主任	滝島 勇太	理学療法士 認定理学療法士(呼吸) 呼吸療法認定士 滋賀県糖尿病療養指導士 心臓リハビリテーション指導士

◆ 他スタッフ

理学療法士 17名 (6名は訪問リハビリテーション事業所と兼任)
 作業療法士 8名 (1名は訪問リハビリテーション事業所と兼任)
 言語聴覚士 2名
 事務職員 2名

◆ 他資格

心不全療養指導士 1名
 がんのリハビリテーション研修会 修了者 8名
 臨床実習指導者講習 修了者 11名
 呼吸療法認定士 1名
 滋賀県糖尿病療養指導士 2名
 福祉住環境コーディネーター2級 3名

3.診療実績

リハビリテーション実施人数 (合計実人数)

入院	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
運動器	473人	506人	447人	464人
脳血管	133人	141人	172人	170人

廃用症候群	163人	181人	218人	183人
心大血管	52人	41人	55人	52人
がん	37人	30人	24人	19人
計	858人	899人	916人	888人

外来	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
運動器	435人	361人	383人	419人
脳血管	27人	18人	19人	23人
廃用症候群	2人	4人	4人	3人
心大血管	20人	12人	18人	20人
計	484人	395人	424人	465人

4.実習生受入状況

期間	学校名	人数
4月4日～5月27日	佛教大学 作業療法学科	1名
4月4日～5月27日	関西医療大学 作業療法学科	1名
5月16日～7月8日	京都医健専門学校 理学療法学科	1名
6月20日～7月17日	びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法学科	1名
7月25日～9月24日	京都医健専門学校 作業療法学科	1名
8月29日～10月22日	藍野大学 理学療法学科	1名
1月9日～2月19日	びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法学科	1名
1月9日～2月19日	びわこリハビリテーション専門職大学 作業療法学科	1名
1月16日～2月17日	京都橘大学 理学療法学科	1名
1月30日～2月24日	京都医健専門学校 理学療法学科	1名
2月6日～2月24日	京都橘大学 作業療法学科	1名
2月13日～2月17日	京都橘大学 理学療法学科	1名
2月27日～3月3日	京都医健専門学校 作業療法学科	1名
3月6日～3月12日	びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法学科	1名

5.学術・研修活動

1) 学会発表・研修会発表・講師

開催日	研修会	開催地	発表者
10月1日 ～2日	第22回認知神経リハビリテーション学会学術集会 指定シンポジウム①患者の言語と臨床展開：「患者の 世界で患者と語る－対話における文脈の重要性－」	くにびき メッセ(島根)	玉木
11月10日	令和4年度 甲賀圏域高次脳機能障害連絡調整会議 研修会 講義：「失語症におけるコミュニケーション －失語症のある高次脳機能障害者と向き合う－」	甲賀保健所	玉木
11月1日	関西医療大学保健医療学部作業療法学科 臨床講 義：高次脳機能障害の神経機構とそれに基づく作業 療法実践－高次脳機能障害者の内的世界へ－	関西医療 大学(大阪)	玉木
11月27日	第17回滋賀県作業療法学会 口述発表：「認知症を呈した症例のスマートフォン操 作の獲得を目指して～記憶障害に着目して～」	びわこ リハビリ テーション 専門職大学	栗生
11月27日	第17回滋賀県作業療法学会 口述発表：「正の強化学習により起き上がり動作の獲 得に至ったレビー小体型認知症症例の一考察」	びわこ リハビリ テーション 専門職大学	足達
11月27日	第17回滋賀県作業療法学会 口述発表：「異なる価値観をもつ他者と共通理解を得 る上で重要な視点」	びわこ リハビリ テーション	井島

		専門職大学	
11月27日	第17回滋賀県作業療法学会 指定演題：「自身の学術活動を振り返る：滋賀県士会 学術誌創刊にむけて」	Web 配信	玉木
1月27日	滋賀県 POS 連絡協議会 東近江・甲賀ブロック共同 人材育成事業事例検討会 症例発表	Web 開催	村地
2月5日	第62回近畿理学療法学会 オンデマンド発表：「踏み台昇降やジャンプ運動が無 気肺改善に有効であり運動耐容能改善に繋がった食 道胃接合部がん術後症例」	Web 開催	滝島
2月5日	第62回近畿理学療法学会 オンデマンド発表：「膝蓋下脂肪体の柔軟性向上にて 内側膝窩部痛が消失した変形性膝関節症の一症例」	Web 開催	西口
2月16日	2022年度甲賀ブロック症例検討会 症例発表：「腸腰筋膿瘍のため長期臥床となった症例 の歩行機能向上に向けた介入」	Web 開催	田村

2) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
6月18日	甲賀湖南糖尿病研究会	サントピア 水口	1名
7月10日	心リハ指導士講習会	Web 開催	1名
7月17日	第37回滋賀県理学療法学会	ピアザ近江	2名
7月24日	理学療法士講習会「腰痛予防・理学療法最前線」	Web 開催	1名
8月6日	滋賀県排尿支援プロジェクト 令和4年度第1回排尿支援リーダー情報交換会	Web 開催	1名
9月3日	循環器コース『心臓リハビリ』	Web 開催	2名
9月20日	群馬県運動療法研究会	Web 開催	1名
9月23日	第8回日本呼吸理学療法学会学術大会	Web 開催	1名
9月29日	心不全診療連携講習会	Web 開催	1名
9月30日	第1回びわこリハビリテーション専門職大学 臨床スキルアップセミナー	Web 開催	1名
10月1日 ～2日	第22回認知神経リハビリテーション学会学術集会	くにびき メッセ(島根)	現地 1名 Web 2名
10月23日	令和4年度滋賀県 POS 連絡協議会 アドバンス研修会	Web 開催	3名
10月26日	第2回 心不全勉強会 (甲賀市健康福祉部主催)	Web 開催	1名
11月4日	滋賀県 POS 連絡協議会 大津・湖西ブロック共同人材育成事業事例検討会	Web 開催	1名
11月10日	令和4年度 甲賀圏域高次脳機能障害連絡調整会議 研修会 「失語症におけるコミュニケーション： 失語症のある高次脳機能障害者と向き合う」	甲賀保健所	現地 1名 Web 1名
11月13日	摂食・嚥下障害リハビリテーション PT・ST ジョイントセミナー	Web 開催	1名
11月14日	甲賀市高齢者虐待防止研修	甲賀市役所	1名
11月15日	三重心臓リハビリテーション研究会	Web 開催	1名
11月17日	県立リハビリテーションセンター主催 パーキンソン病リハビリ教室	甲賀市 まちづくり センター まる一む	1名
11月18日	滋賀県 POS 連絡協議会	Web 開催	1名

	湖南ブロック研修会		
11月27日	第17回滋賀県作業療法学会	びわこ リハビリ テーション 専門職大学	現地 3名 Web 1名
11月27日	2022年度滋賀県理学療法士会 障がい者スポーツ支援部研修会	Web 開催	1名
11月30日	愛媛心臓リハビリテーション研究会	Web 開催	1名
12月2日	2022年度滋賀災害対策研修会	Web 開催	1名
12月8日	第6回 BRIDGEforum	Web 開催	1名
12月14日	滋賀県 POS 連絡協議会 湖南・湖東・湖北ブロック共同人材育成事業 事例検討会	Web 開催	1名
1月7日	滋賀県排尿支援プロジェクト 令和4年度第2回排尿支援リーダー情報交換会	Web 開催	1名
1月27日	滋賀県 POS 連絡協議会 東近江・甲賀ブロック共同人材育成事業事例検討会	Web 開催	12名
2月5日	令和4年度 教育研修事業 高次脳機能障害コース医師・セラピスト研修	Web 開催	1名
2月5日	第62回近畿理学療法学会	Web 開催	2名
2月8日	甲賀市地域リハビリテーション人材育成研修 フォローアップ研修	Web 開催	2名
2月10日	びわ湖生活習慣病ケア研究会 2023	Web 開催	1名
2月13日	令和4年度第2回病院と介護支援専門員の連携調整 会議(全体会)	甲賀合同 庁舎	1名
2月15日	地域リハビリテーション人材育成研修会 リーダーセミナー研修 第1回:「人を育てる」ということ	Web 開催	2名
2月16日	2022年度甲賀ブロック症例検討会	Web 開催	5名 発表1名
2月25日	第31回新潟呼吸ケアセミナー	Web 開催	1名
2月27日	目標設定が変われば活動が変わる 高齢者の『できる』を支援するために	Web 開催	2名
2月28日	地域リハビリテーション人材育成研修会 リーダーセミナー研修 第2回:パワーハラスメントのラインとは	Web 開催	2名
3月2日	滋賀教育管理系理学療法研究会 2022年度第1回研修会	Web 開催	1名
3月7日	リハビリテーション部門の働き方改革	Web 開催	1名
3月18日	地域リハビリテーション人材育成研修会 リーダーセミナー研修 第3回:キャリアプランを考えるために	滋賀県立 総合病院	2名

3) 部内勉強会

開催日	開催内容	参加人数
4月25日	膝関節深屈曲動作に伴う内側膝窩部痛についての検討 西口 純平	13人
5月23日	食道胃接合部が術後、膿胸により、右肺下葉に無気肺が残存した 一症例 -無気肺改善を目的とした呼吸リハビリテーション- 滝島 勇太	11人
6月28日	アルツハイマー型認知症を呈した症例のスマートフォン操作の獲得 を目指して 記憶障害に着目して 栗生 春奈	13人
8月29日	両 THA 術後患者との関わり～痛みなくせいかつできる様に～	12人

	中村 真太	
9月26日	頰椎症性筋萎縮症例と肩関節脱臼により腋窩神経麻痺を呈した症例 ～それぞれの病態と訓練内容を比較する～ 足達 紅美	13人
10月24日	腸腰筋膿瘍のため長期臥床となった症例の歩行機能向上に向けた介入 ～不安なく外出ができるように～ 田村 峰香	15人
10月24日	環境調整を重ねて自宅退院に至った症例 -合意形成に向けて多職 種連携- 井島 梨緒	15人
1月30日	余暇活動を提案した事で活動性が向上した症例 中井 李里花	14人
2月27日	患者主体の食事動作訓練にて自立に至った症例 小林 剣	11人
3月27日	感覚障害を伴った黄色靭帯骨化症患者～歩行速度向上を目指して～ 井口 瑛巴	14人

6.論文・著書等

1) 原著論文

○本田慎一郎, 玉木義規, 日下部洋平. 患者の言葉とセラピストの言葉をリフレクションする一意識の多層構造モデルを手掛かりに-. 認知神経リハビリテーションジャーナル. 2022 ; 21 : 93-100.

2) 書籍

○宮本省三, 中村三夫 編. 『カルロ・ペルフェッティ 対話は続くー私たちの臨床はどう変わったのかー. 協同医書出版社, 2022. (共著: 玉木義規)

臨床工学部

1.概要

2022年度の臨床工学部は、10名体制でスタートしました。手術室業務・カテ室業務は5名のローテーション制とし、並列の手術にも対応しました。しかし、2名の退職があった為、血液浄化部の協力を得ながら業務を遂行してきました。2023年1月に1名の入職があり、手術室・カテ室のスタッフを育成すべく準備しております。また、透析センターでのコロナ対策を血液浄化部とともに実施し、クラスターを起こすことなく2022年度を終えることができました。透析用コンソールも4台を更新し、25名の患者さんにonlineHDFを実施しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長（医療機器安全管理責任者）	伊澤 正志	呼吸療法認定士
主任	速水 左知恵	ACLS プロバイダー

- ◆ 他スタッフ
臨床工学技士 7名

3.診療実績

血液透析（総数）	11,403件	カテーテル検査・治療	123件
血液透析（外来）	9,551件	ペースメーカー植込み・交換	5件
血液透析（入院）	1,852件	ペースメーカー検査	50件
自己血回収装置	14件	終夜睡眠ポリグラフィ検査	23件
In-Body測定	393件	管理台数	529台

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月3日	シャントエコーセミナー VALUE west 3rd	Web開催	2名
4月21日	透析医療経営セミナー	Web開催	1名
4月24日	第4回循環器関連セミナー	Web開催	1名
5月15日	第32回日本臨床工学会	つくば国際会議場	1名
6月10日 ～12日	Japan Endvascular Treatment Conference 2022	グランフロント大阪北館	1名
6月16日	南丹・亀岡・洛西 CKD TOPIX セミナー	Web開催	1名
7月2日	Philips IVUS & FFR/IFR Training Center 2022@Oben	Web開催	1名
8月31日	全国Webセミナー 放ってはいけない鉄欠乏の怖さ	Web開催	1名
9月11日	15th EP/ABL Skill Up Seminar 上室性頻拍を学ぶ	Web開催	1名
9月21日	第3回TORII Web Short Lecture CKDにおける冠動脈疾患診かた	Web開催	1名
10月15日	かふかCKD医療連携を考える会	Web開催	2名
10月28日	第1回関西ネーザルハイフローセミナー	Web開催	2名
12月6日	透析領域Web講演会 透析患者の新型コロナウイルス感染症2022	Web開催	1名
12月8日	EPS/ABL講習会 第1部	Web開催	1名
12月14日	EPS/ABL講習会 第2部	Web開催	1名
2月1日	キャリアアップ研修会・初級	Web開催	1名
3月16日	第7回南大阪イブニングセミナー 透析患者の血圧管理	Web開催	2名
3月28日	透析アミロイド症を知る～早期手術のメリット～	Web開催	1名
3月29日	エキスパートに学ぶ透析カテーテル	Web開催	1名

栄養管理部

1.概要

栄養管理部では、栄養療法を用いて、地域の皆様の栄養状態の改善および、疾病の予防と治癒促進を図れるように日々努力しています。研修で習得した知識を活用し入院・外来栄養指導を積極的に行いました。治療効果、安全・衛生面に考慮はもちろん、患者さんの病状や食事形態にあわせた栄養指導も取り組んでいきました。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	巽 紀之	管理栄養士
主任	増田 寿樹	管理栄養士

◆ 他スタッフ

管理栄養士 1名

委託側（日清医療食品㈱）管理栄養士 1名、栄養士 2名、調理師 5名、調理補助 8名

◆ 他資格

栄養サポートチーム専門療養士

日本糖尿病療養指導士

滋賀県糖尿病療養指導士

特定保健指導担当者研修修了

調理師免許

3.診療実績

1) 指導件数

指導件数		2020年度	2021年度	2022年度
栄養指導件数		1,561件	1,634件	1,542件
内訳	外来栄養指導	1,067件	1,296件	1,229件
	入院栄養指導	494件	338件	313件
	糖尿病透析予防	15件	5件	16件
	訪問栄養指導	13件	7件	14件

2) 1日延べ食数および特別食の割合

内容	2020年度	2021年度	2022年度
提供食数	157,188食	132,308食	197,783食
食事療養 I-1（経口）	138,116食	113,174食	114,742食
特別食数	92,079食	79,346食	76,602食
加算	85,562食	84,261食	84,770食
非加算	6,517食	4,915食	8,168食
食事療養 I-2（流動食）	19,072食	19,134食	25,366食
特別食比率	62.0%	70.1%	67.0%

4.実習生受入状況

期間	学校名	人数
8月15日～8月20日	滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科	2名
8月22日～8月26日		
8月29日～9月2日		

5.学術・研修活動

1) 研修会発表・講師

開催日時	研修会	開催地	発表者
12月2日	第43回日本肥満学会 第40回日本肥満症治療学会学術集会 『ボウル法を用いた食事療法の流れ』	Web開催	巽

2) 糖尿病教室

	開催日	テーマ	講師
前期	第1回 5月16日	糖尿病と食事療法について	巽
	第2回 6月20日	外食の選び方	古川
	第3回 7月11日	脱水・熱中症予防について	増田
	第4回 8月8日	お菓子・ジュースについて	古川
後期	第1回 11月21日	外食の選び方	巽
	第2回 12月19日	年末年始の食事について	古川
	第4回 2月20日	シックデイ	巽
	第5回 3月20日	糖尿病の食事療法のまとめ	古川

3) 研修活動

開催日時	研修会	開催地	参加人数
5月12日 5月13日 5月14日	第65回日本糖尿病学会年次学術集会	Web開催	1名
5月31日 6月1日	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	Web開催	1名
7月1日～	日本病態栄養学会主催教育セミナー	Web開催	1名
12月2日 12月3日	第43回日本肥満学会 第40回日本肥満症治療学会学術集会	Web開催	1名
12月11日	第8回CDE 滋賀認定講習会	Web開催	1名
1月13日 1月14日 1月15日	第26回日本病態栄養学会年次学術集会	Web開催	1名

臨床心理室

1.概要

臨床心理士とは、患者さんが自分らしく生活できるよう心理的援助・予防を行う専門家です。臨床心理士資格のほか、国家資格である公認心理師資格を2名とも取得しています。

当院では主に心理検査・カウンセリング・認知症検査を行っています。カウンセリングでは心理士による丁寧な問診や包括的なアセスメントを心掛け、必要に応じて他機関・他職種との連携を行いました。また、啓発活動として広報誌きらめき内に『心理士便り』を掲載し、継続的に情報発信を行いました。今年度は研修活動にも力を入れ、講師・学会発表と研修参加を複数行いました。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
主任	谷村 梨紗	公認心理師 臨床心理士

◆ 他スタッフ

公認心理師・臨床心理士 1名

3.診療実績

検査項目	2020年度	2021年度	2022年度
外来カウンセリング	384件	505件	626件
病棟カウンセリング	301件	268件	207件
心理検査	50件	92件	82件
認知症検査	287件	273件	313件

4.研修活動

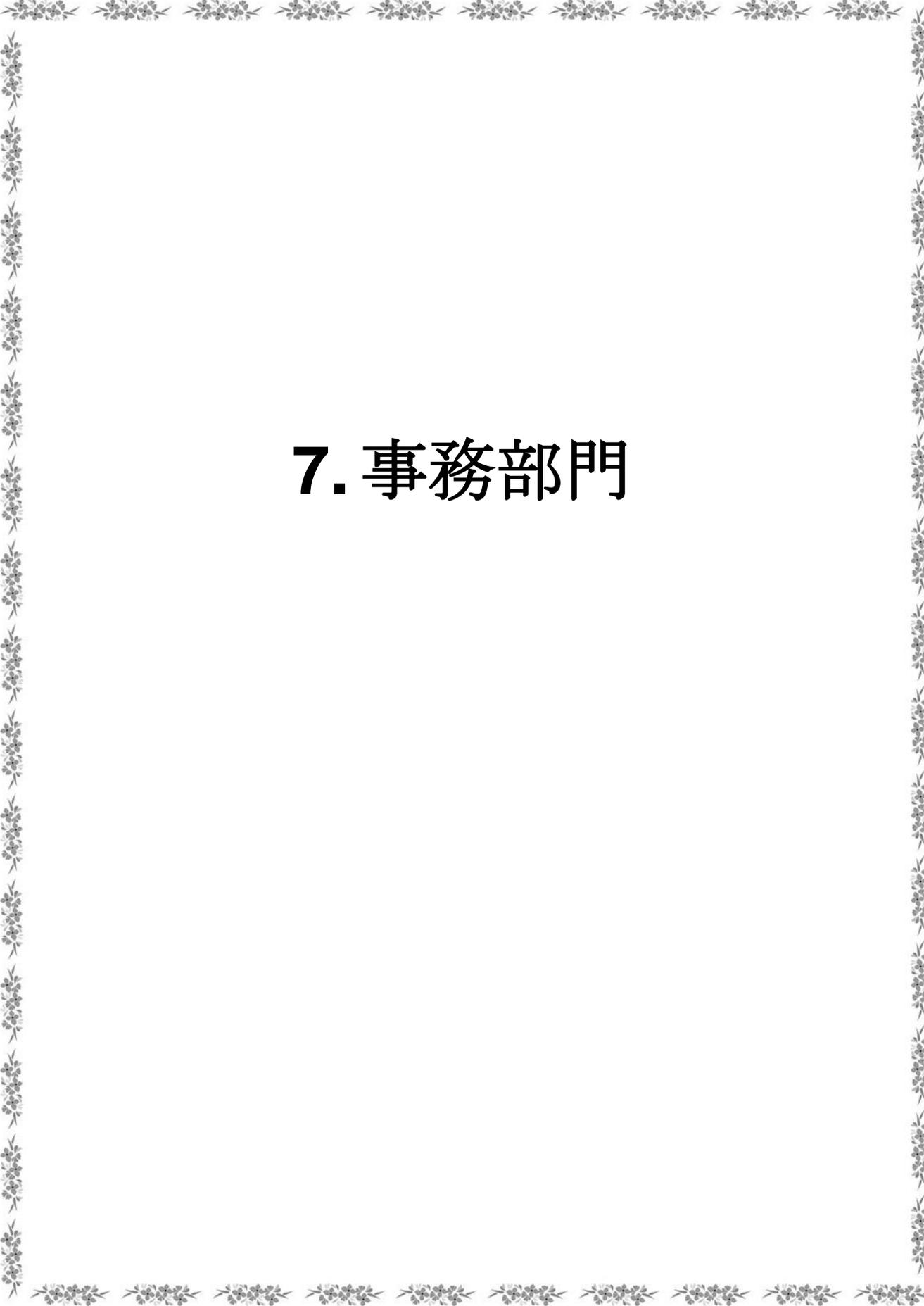
1) 学会・研修会発表・講師

開催日時	研修会	開催地
9月 2日 ～25日	日本心理臨床学会第41回大会 「オンライン面会が入院患者やその家族に与える心理的影響」	Web開催
12月 2日 ～ 3日	第43回日本肥満学会・第40回日本肥満症治療学会学術集会 「精神科を持たない病院で行う肥満治療における心理士の役割について」	Web開催
2月 24日	エーザイ株式会社社内講演会 「睡眠（不眠）障害と精神疾患-心理士からの視点-」	Web開催

2) 院外研修

開催日時	研修会	開催地	参加人数
5月 8日	滋賀県臨床心理士会 2022年度第1回1日研修会 「発達症と精神疾患」	Web開催	2名
5月 15日	滋賀県公認心理師会 第2回保健医療交流会 「これだけは知っておきたい CBT のエッセンス」	Web開催	1名
6月 5日	滋賀県臨床心理士会被害者・災害支援研修会	滋賀県	1名
6月 12日	三重県臨床心理士会公開研修会 「現代のつながり—シェアとナイショ」	Web開催	1名
8月 20日	はじめて学ぶ強迫症への認知行動療法ツール活用ワークショップ	Web開催	1名
10月 1日 ～ 2日	日本心理臨床学会第41回大会	兵庫県	1名
10月 15日	滋賀県神経発達症・児童思春期に対する医療連携強化事業 「児童生徒のメンタルヘルスを取り巻く関係機関の連携について考える」	滋賀県	1名

1月24日	Eisai Dementia Live Seminar 「認知症治療におけるかかりつけ医・心理士への期待」 「かかりつけ医による認知症評価法 ～問診、認知機能評価ポイント～」	Web開催	1名
1月29日	滋賀県臨床心理士会 2022年度第2回1日研修会	滋賀県	2名
2月26日	2022年度京都文教大学大学院事例検討会	Web開催	1名

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs surrounds the central text.

7. 事務部門

事務部

1.概要

事務部は、①病院経営および経営改善のための調査・分析②経営会議の運営③事務系部署の管理・効率化の推進を軸に病院経営の立案、遂行を行なっています。

診療データの収集、管理を行い経営会議にて報告するとともに日本医療機能評価機構の病院機能評価を通じ病院の質向上に貢献しています。また、保健所の立入検査・厚生局の適時調査等の対応、診療報酬の算定ルールが厳守出来ているかの確認を常時行い、健全な病院運営を管理しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
事務長	岡崎 哲也	診療放射線技師 初級システムアドミニストレータ
事務次長	高阪 裕貴	

3.活動実績

- ◆ 行動計画の管理、進捗確認
- ◆ 経営会議のとりまとめ
- ◆ 補助金申請
- ◆ 施設基準の管理
- ◆ 事務系部署の管理、教育

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
8月3日	日本病院会 2022年度診療報酬改定を踏まえ中小病院の経営を考える	Web 開催	1名
10月20日	滋賀県私立病院協会事務長部会 研修会	近江八幡市	1名
11月2日	滋賀県病院協会 院長・事務長合同研修会	Web 開催	1名
11月14日	岐阜地域医師会連携パス機構の発足・推進を経て	Web 開催	1名
11月25日	地域医療連携推進法人の取り組みと今後の構想	Web 開催	1名
12月6日	若手の主体性と責任感を育てる方法	Web 開催	1名
12月13日	外来機能分化やかかりつけ医療機能の強化と中期的な経営戦略について	Web 開催	1名
2月17日	ランサムウェア・Emotet攻撃の特徴と対策方法を徹底解説	Web 開催	1名
2月22日	滋賀県病院協会 不当要求防止対策等セキュリティ対策研修会	Web 開催	1名
2月28日	滋賀県病院協会 退院支援全体研修会	Web 開催	1名
3月9日	感染症法5類への変更後のコロナ感染対策研修会	Web 開催	
3月10日	入院・外来・在宅、2024年時代は変わる～医療法人がヘルスケア産業の主役になるために～	経団連会館	1名
3月23日	病院全体で進める連携の仕組みと体制	Web 開催	1名

総務人事課

1.概要

総務人事課は、職員の入職から退職に関わる各種手続きをはじめとした総務業務、経理業務、求人活動から採用、人事考課などの人事業務を主に3つの業務内容からなる部署です。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	上山 真美子	
主任	村田 めぐみ	

- ◆ 他スタッフ
常勤 2名
- ◆ 他資格
SOC (シニアコンプライアンスオフィサー)
正会員証券外務員・内部管理責任者資格
生命保険販売員資格 (専門・変額・一般)
損害保険販売員資格 (傷害・火災)
金融商品取引資格 1級
日本商工会議所簿記検定 2級

3.主要な活動実績

期間	活動名	参加・対象人数
4月 1日 4月 3日	新入職員オリエンテーション研修	新入職 14名 他 3名
8月 2日	永年勤続表彰式	22名
6月 27日 ～ 6月 30日	人権研修「パワーハラスメントについて」	343名
11月 14日 ～11月 18日	滋賀県立甲南高等学校職業体験	3名
12月 5日 12月 7日 ～12月 9日	人権研修「アンガーマネジメントについて」	338名

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
6月 9日	採用選考研修会	滋賀県	1名
6月 9日	インボイス制度セミナー	滋賀県	1名
9月 27日	待ったなし！2024年医師の働き方改革労務管理で必ずおさえておくべき3つのポイント	Web 開催	1名
12月 10日	女性医師交流会 医療現場のダイバーシティ	Web 開催	1名
1月 19日	企人協人権研修 松浦武四郎とアイヌの人々	Web 開催	1名
1月 25日	電離放射線障害防止規則及び医療機関における労務管理説明会	Web 開催	1名
1月 27日	甲賀地域事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会 あなたのため、わたしのためのジェンダー平等	滋賀県	1名
2月 3日	滋賀県医師会 パワハラ、セクハラ問題	Web 開催	1名
2月 7日	R5年度税制改正のポイント	Web 開催	1名
2月 24日	滋賀県病院協会 不当要求防止対策等セキュリティ対策研修会	Web 開催	1名
2月 28日	女性活躍推進法に基づく男女の賃金差異の公表 &改正育児・介護休業法解説セミナー	Web 開催	1名

医事課

1.概要

医事課の主な仕事は、窓口で患者さんの負担割合に応じて負担金を徴収することです。また、診療内容に基づいて診療報酬明細書（レセプト）を作成し、社会保険診療報酬支払基金や国民健康保険団体連合会へ請求しています。

医事課は病院の中でも患者さんに接する機会が多い部署の一つです。患者さんに気持ち良く受診していただけるよう常に意識し、業務に励んでおります。業務の一環として患者さんが安心して入院していただけるよう高額医療費や福祉医療、指定難病の申請方法なども併せて説明しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	安西 健	診療報酬請求事務能力認定試験 救急救命士 ホスピタルコンシェルジュ 3級
係長	大角 恭子	診療報酬請求事務能力認定試験
主任	宿谷 亜由美	診療報酬請求事務能力認定試験

- ◆ 他スタッフ
常勤 11名 ・ 非常勤 3名
- ◆ 他資格
診療報酬請求事務能力認定試験 1名

3.活動実績

1. コンサルタント会社による減点・返戻削減のための勉強会を月に1回開催
2. 各部署と協議・連携しながら以下の施設基準を届出して算定を開始
 - 2022年 4月 外来腫瘍化学療法診療料 2
 - 2022年 4月 無菌製剤処理料
 - 2022年 4月 感染対策向上加算 2
 - 2022年 4月 輸血適正使用加算
 - 2022年 5月 二次性骨折予防継続管理料 2・3
 - 2022年 8月 地域包括ケア病棟入院料 1（3A病棟）
 - 2022年 10月 看護職員処遇改善評価料
 - 2022年 11月 こころの連携指導料 1
 - 2022年 11月 感染対策向上加算 3（2より変更）

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
8月23日	令和4年度第1回医事研修会 「患者様とともに歩む病院であるために」	Web開催	1名
10月27日	令和4年度労災診療研修会	Web開催	2名
2月24日	令和4年度第3回医事研修会 「令和4年度不当要求防止対策等セキュリティ対策 研修会」	Web開催	1名

秘書課

1.概要

秘書課は、勤務医の負担軽減をめざし、医療の質の向上や患者サービスの改善に繋げられるように日々業務を行っています。配属後1年間は外来または入院業務に慣れ、翌年から医師事務作業補助の研修に参加します。

患者さんが当院で安心して受診していただけるよう、接遇・コミュニケーション力・医療現場に求められる医学的知識と医事関連の事務的知識を習得し、医師や各部署間での連携・調整をする役割を担っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	中村 尚子	
係長	池田 裕子	医科医療事務管理士
主任	福井 陽子	

◆ 他スタッフ

常勤 17名

◆ 他資格

メディカル秘書士 1名

情報処理士 1名

医科医療事務管理士 2名

秘書技能検定2級 4名

医療事務技能審査試験 1名

医療秘書実務能力検定試験1級 2名

医療請求事務能力検定試験1級 2名

調剤薬局事務検定試験 2名

3.活動実績

2012年7月より医師事務作業補助者として病棟クラーク1名、外来クラーク1名の配置で代行入力、文書作成補助業務がスタートしました。現在は12名体制で業務を行っています。

主な業務は、①外来診療支援及び病棟カルテ代行入力 ②主治医意見書・診断書・診療情報提供書（紹介元への返事）などの医療文書の代行作成 ③一部医師のスケジュール管理 ④医師の退院サマリー作成補助 ⑤NCD症例登録 などです。

2022年5月よりスタッフ全体での情報共有の場を設けるため、秘書課会議を月に一回実施しています。今後は、教育体制や配置の見直し、業務の標準化、専門性や質を高めていくことが課題です。

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
7月20日 ～7月22日	医師事務作業補助者研修	Web開催	2名

健診センター（事務）

1.概要

当健診センターは癌の早期発見と生活習慣病の予防、改善を目標にしています。病院併設という強みを生かし、オプションで最新鋭の機器を使用した検査を受けることができます。婦人科系検診を他の健診と同時に受診することができるため、多くの女性にご利用いただきました。

予約をいただく際は、個々の希望をお伺いしながら様々なプランをご提案しております。健診当日はスムーズにご案内できるよう最善を尽くし、快適にお過ごしいただけるよう努めております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長（事務）	川岸 智恵子	医療事務技能審査2級（医科）
係長（事務）	小崎 麗菜	診療報酬請求事務能力認定試験 2級医療秘書実務能力認定試験 医師事務作業補助者実務能力認定試験 電子カルテオペレーション実務能力認定試験 医療事務 OA 実務能力認定試験
主任（事務）	中尾 つぐみ	2級メディカルクラーク

- ◆ 他スタッフ
事務員 3名

3.活動実績

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策を図りつつ、人間ドック、各種健診を実施しました。また、各種市町村検診も幅広く様々な健診(検診)を受診できる体制を整えております。

近隣企業からのご要望に応じ、新たな健康保険組合の健診をお請けしました。また、様々な個人健診のご要望にもお応えできるように努めました。

4.学術・研修活動

開催日	内容	講師
6月17日	人間ドックの受診率と受診単価の向上について	Web 研修

診療情報管理室

1.概要

診療録へ正確かつ適切に記載されているかを、検証・評価し、医療の質と安全性の向上に繋げるため、診療録の基本的な保管・管理、質的監査、量的点検を行っています。また、DPC導入の影響評価にかかる調査（様式1の作成）、退院時サマリーに関するコーディング業務、全国がん登録業務、入院に関する同意書などのスキャン、各種統計の作成を行っています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	村中 香織	診療情報管理士 医療事務技能審査2級（医科）
係長	林田 薫	診療情報管理士 がん登録初級認定者 DPCコース認定 医科医療事務管理士

3.活動実績

- ・DPC導入の影響評価に関わる調査（様式1作成）2,014件
- ・退院時病歴登録 1,685名
- ・全国がん登録 91件

4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月21日	NCDセミナー 「NCD症例入力方法」	Web開催	1名
5月31日	日本病院会 「QIプロジェクト説明会」	Web開催	2名
6月18日	近畿病歴管理セミナー 「非接触時代をチャンスに変える近ゼミの 転生展望」	Web開催	2名
9月6日	国立がん研究センター 「がん登録実務初級認定者研修」	Web開催	1名
9月22日	近畿病歴管理セミナー 「病院の診療情報を守るための診療情報管理士 の役割」	Web開催	1名
2月18日	近畿病歴管理セミナー 「がん登録勉強会」	Web開催	2名

管理情報課

1.概要

管理情報課は施設管理、送迎等の運行管理、医療材料の管理、電子カルテを中心とした情報管理を主業務として組織されております。医療材料の部門ではSPDを導入し外部委託にて仕入れ・払出しの管理を行っております。専門知識を有する委託業者による運営により医療材料から備品、消耗品、文具に至るまでをカバーして日常の診療や手術、検査をはじめ診療体制の維持に寄与できるように切れ目のない管理体制で業務を進めております。設備面での管理業務を担い療養環境の維持に努めております。情報管理部門は電子カルテの利便性を向上させるために各部署からの意見を細かなところまで聞き取り、不具合への対応などを行い、診療への支障が出ないように管理体制を構築しております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
係長	隠岐 正治	
主任	川口 光典	

◆ 他スタッフ

- 施設管理担当 3名
- 車両運転業務 5名（透析患者さん送迎4名・訪問診療ドライバー1名）
- SPD業務委託会社 1社
- 施設管理委託会社 1社

3.活動実績

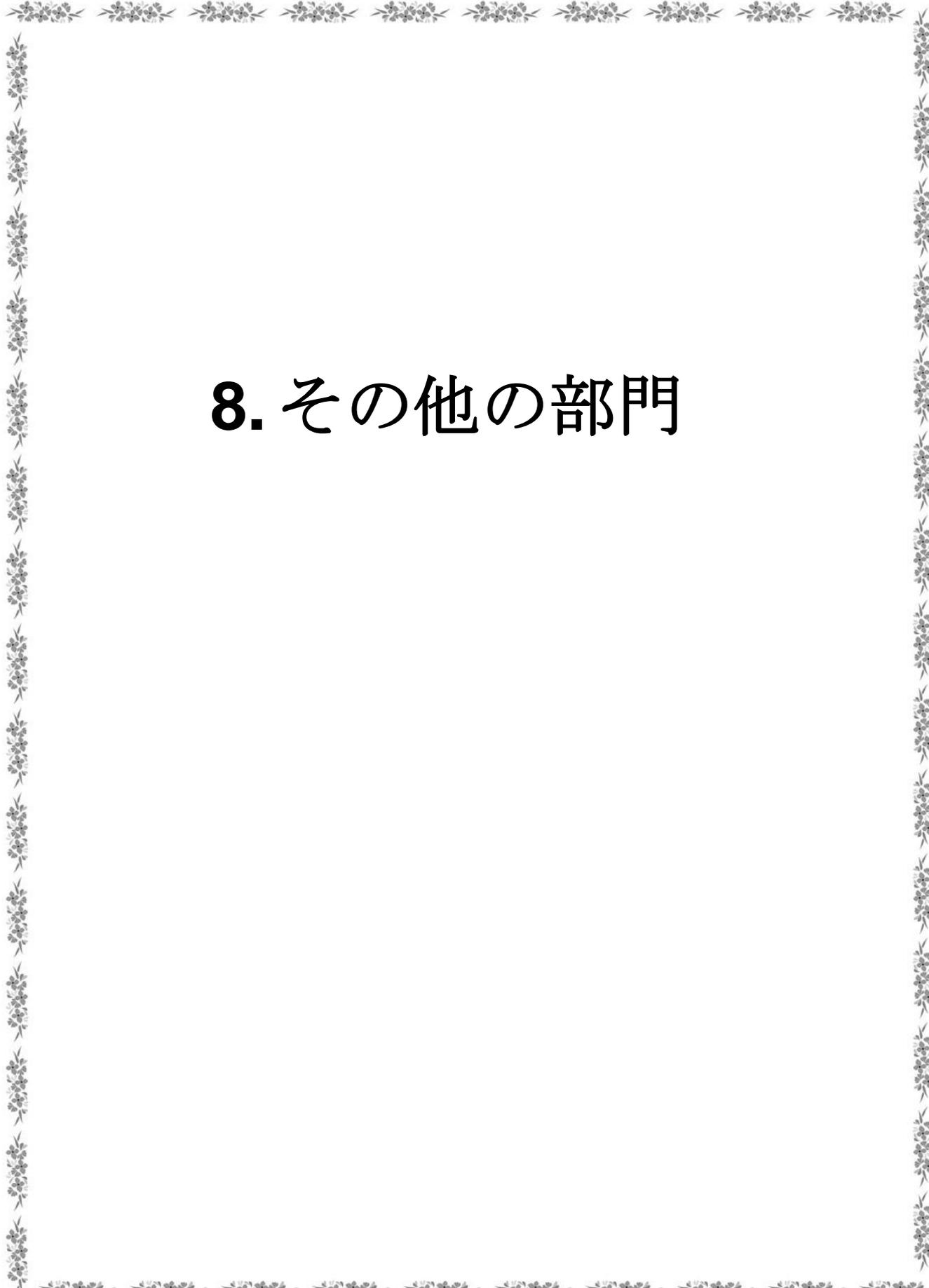
- 施設管理：設備管理、備品管理、清掃業務を委託業者と連携し担当
- 車両運行：透析患者さんの送迎（週6日）、救急車搬送（35件）、一般患者さんの送迎
放射線部結果フィルム配達（各医院・クリニックへ）
- 情報管理担当：電子カルテの更新後の体制構築
医療情報システム委員会と協同し、電子カルテ運用対応、改善対応、保守対応
電子媒体全般のセキュリティ管理および保守管理業務
- 医療材料担当：医療材料・機器・備品・消耗品等の計画立案、選定、購入、配備後の管理
日常の運営管理は委託業者にて担当

期間	活動名	開催地	参加人数
6月3日	甲南病院消防訓練	甲南病院	21名
6月3日	ひまわり保育園消防訓練	ひまわり保育園	13名
10月17日 ～10月24日	患者さん用Wi-Fiエリア拡大工事	甲南病院	
11月11日	甲南病院消防訓練	甲南病院	18名
11月11日	ひまわり保育園消防訓練	ひまわり保育園	11名
10月13日 ～11月21日	高圧引込電線更新工事	甲南病院	
12月14日 ～01月22日	火災通報装置・非常放送設備更新工事	甲南病院	
3月6日 ～3月22日	ナースコール設備更新工事	甲南病院2C病棟	

4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
7月26日	情報セキュリティ研修会	滋賀県	1名
8月4日	安全運転管理者講習	滋賀県	1名
10月14日	令和4年度 高圧ガス保安講習会	滋賀県	1名
11月29日～ 11月30日 12月1日～ 12月2日	甲種防火管理新規講習	滋賀県	2名

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs in a light gray color, framing the central text.

8. その他の部門

医療安全管理部

1.概要

医療安全管理部では、患者さんやご家族が安心して医療が受けられるよう、また職員一人一人安全な環境で医療が提供できるよう、組織横断的に院内の安全管理に取り組んでいます。多角的な視野で病院全体に関わる医療安全対策を検討し、再発防止や事故の未然防止に向けて活動しています。医療の安全と質の向上を目指し、職員の教育ならびに安全で良質な医療システムの確立を目指しています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
室長	藪下 初代	看護師 医療安全管理者

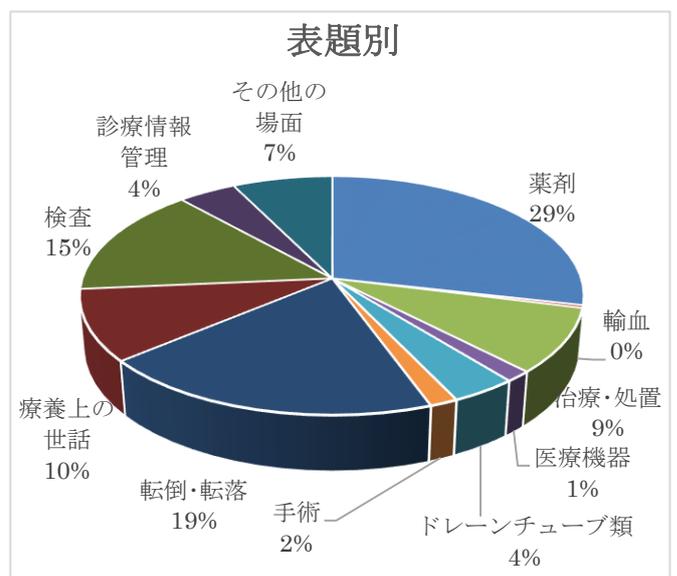
- ◆ 他スタッフ（兼）
 - 米村 岳尚（医師）
 - 安西 健（医事課 課長）
 - 大原 久詞（薬剤部 主任）

3.活動実績

【インシデント報告数】

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
755件	829件	984件	1,076件

- ・医療安全管理者委員会（12回/年）
- ・医療安全委員会（12回/年）
- ・転倒転落ワーキング（10回/年）
- ・薬剤ワーキング（11回/年）
- ・医療機器ワーキング（1回/年）
- ・院内ラウンド（9回/年）
- ・医療安全ニュースの発行（11回/年）
- ・インシデント報告の集計、分析
- ・医療安全カンファレンス（1回/週）
 - 予期せぬ死亡の確認、RCA分析、インシデント報告の対策検討
- ・衛生委員会（12回/年）
- ・患者サポートカンファレンス（1回/週、書面会議）
- ・インシデント報告書より、情報収集、分析、再発防止策の検討、評価、職員への周知
- ・医療安全対策相互チェック（3回/年、ZOOM会議）



4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月18日	医療安全研修 転倒・転落対策	Web 開催	7名
6月22日	せん妄対応を意識した不眠へのアプローチ	Web 開催	1名
6月28日	離床CATCHマスター研修会	Web 開催	1名
7月1日	脆弱皮膚のスキンケア～スキナーケアの予防とケア～	Web 開催	1名
10月15日	医療安全シンポジウム 京都府看護協会 医療安全文化の醸成に向けて 心理的安全性を理解して 組織を変えていこう	Web 開催	1名
11月17日	医療安全セミナー 厚生労働省 近畿厚生局 「多職種チームによるレジリエンスの発揮」	Web 開催	1名
11月29日	滋賀県病院協会 医療安全対策研修会	Web 開催	1名

地域医療連携部

1.概要

地域医療連携部では、前方連携と入退院支援、総合相談の3大業務に加え、在宅医療支援センターこうなんや近隣施設・企業と協働開催している『出前健康講座』の窓口を担っています。地域の皆様の健康増進や疾病予防に繋がる情報を常に発信しています。

前方連携業務では、地域の医療機関からの診察や検査予約、入院のスムーズな受け入れに努めています。また、訪問診療やレスパイト入院、医療療養病棟への入院、外来・入院透析の相談窓口も担っております。

2022年度は昨年同様に新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、面会を制限させて頂いており入院患者さん、ご家族には大変な不自由をお掛け致しました。患者さんの安心安全な療養生活のためにオンライン面会を推奨し、ご家族に療養生活の様子やリハビリの進捗を動画で伝えるなど、細やかな入退院支援に努めました。

また、地域のケアマネジャーや施設、支援者の方々との連携方法として、カンファレンスのリモート開催も積極的に行いました。今後も入院前・入院早期からの介入を増やし、在宅療養・介護に関することや、医療費、生活費における各種制度、心理的・社会的問題に対して、院内外多職種と連携を図りながら患者さんに寄り添った支援を実践して参ります。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	前田 輝子	看護師 主任介護支援専門員
主任	入江 龍介	社会福祉士 精神保健福祉士

◆ 他スタッフ

看護師 1名
社会福祉士 1名
事務員 2名

◆ 他資格

看護師
保健師
介護支援専門員
社会福祉士
精神保健福祉士
介護福祉士
福祉住環境コーディネーター2級
テクノエイド協会福祉用具プランナー
滋賀県糖尿病療養指導士
内視鏡技師

3.活動実績

◆ 前方連携

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
外来紹介（受診）	895	1,070	992
入院紹介（一般）	393	339	275
入院紹介（療養）	122	135	120
紹介総数	1,410	1,544	1,387

◆退院調整

単位：件

		2020年度	2021年度	2022年度
カンファレンス件数合計		1,332	1,581	1,523
内訳	初期	1,106	1,375	1,320
	中間	58	57	36
	退院前	168	149	167
退院支援相談・面談件数合計		6,668	6,632	6,741
入退院支援加算 1		770	1,099	976

◆総合相談

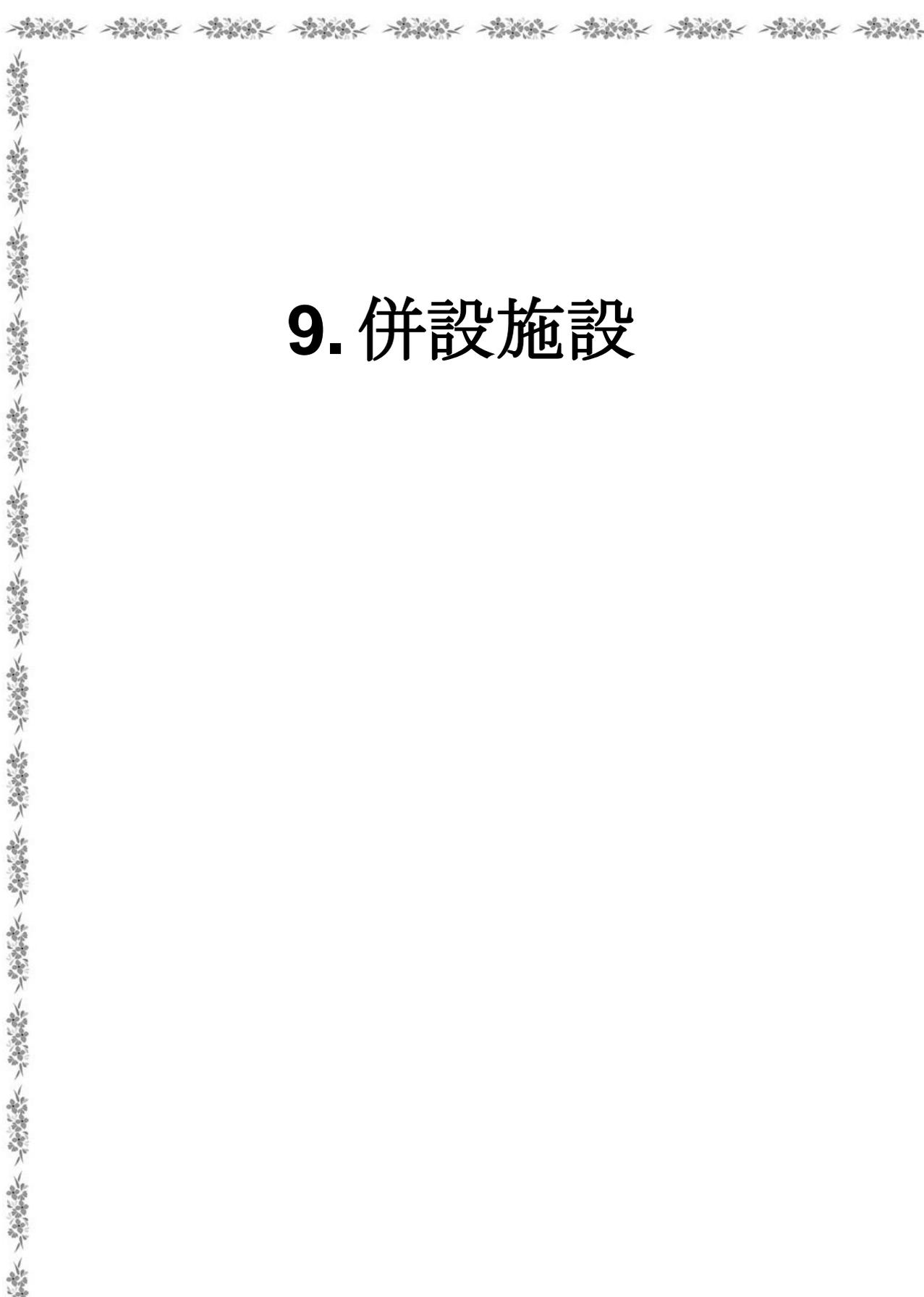
単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
総合相談件数	686	761	660

4.学術・研修活動

1) 院外研修・勉強会

開催日・回数	研修会	開催地	参加人数
年 3 回	医療福祉・在宅看取りの地域創造会議	Web 開催	1 名
5 月 31 日	難病講演会 病気のための福祉制度の活用	Web 開催	1 名
8 月 21 日	令和 4 年度ギャンブル等依存症対応研修 「ギャンブル依存症の治療と対応」	Web 開催	1 名
9 月 10 日	近弁連 高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会 夏季研修会 ー後見と医療同意ー本人の医療における意思決定支援のあるべき姿とはー	Web 開催	1 名
10 月 16 日	権利擁護支援講演会 「権利擁護支援は地域づくりです」	甲賀市	1 名
10 月 20 日	持続可能なケア基盤と地域包括ケアシステム	Web 開催	1 名
12 月 2 日	第 43 回日本肥満学会	Web 開催	1 名
12 月 3 日	第 40 回日本肥満症治療学会学術集会		
12 月 4 日	滋賀県社会福祉士会 社会福祉士の倫理綱領・行動規範を学び実践につなげる研修会	Web 開催	1 名
1 月 19 日	在宅医療従事者スキルアップ研修会 心不全について	甲賀病院	2 名
2 月 9 日	第 24 回甲賀湖南うつ病・認知症・在宅医療等懇話会 「うつ病等自宅にひきこもりがちな高齢者等への支援～医療と多職種との連携 ひろいあげとケアの継続～」	甲賀市	1 名
2 月 28 日	令和 4 年度退院支援機能強化事業全体研修会 「コロナ禍における在宅看取りへの支援」	Web 開催	2 名
3 月 10 日	高齢者や障がい者に対する権利擁護について	Web 開催	2 名

A decorative border consisting of repeating floral motifs, including small flowers and leaves, arranged in a rectangular frame around the page content.

9. 併設施設

在宅医療支援センターこうなん

1.概要

当施設は、2017年に『地域貢献』を目的として開設された施設です。医療や介護の相談窓口として、住民の方々へ直接的支援を行うほか、福祉用具や自助具の紹介、近隣施設、企業と協働して市民講座や健康出前講座・研修会を開催してまいりました。また、同法人の甲南病院、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所、訪問リハビリテーション事業所との連携を強みとし、在宅看とりを中心に安心・安全な療養環境の実現に努力してまいりました。

2022年度は時節の状況をみながら地域や介護事業所への健康出前講座を再開しております。

また、2023年3月には併設事業所（訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所）の院内移転に伴い、当施設を閉設し、業務移行を甲南病院地域医療連携室にしております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
センター長	古倉 みのり	医師
副センター長	前田 輝子	看護師 主任介護支援専門員

3.活動実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年
医療・介護相談件数	20件	53件	60件	55件
福祉用具・自助具相談	5件	12件	5件	5件
出前健康講座	26回（763人）	2回	2回	4件
事業所向け研修	7回（167人）	0回	0回	0件

4.学術・研修活動

◆ 出前健康講座実績

開催月	テーマ	開催地	講師
10月27日	サルコペニアフレイルを予防して元気な身体に！	かふか障害学習館	増田管理栄養士
12月22日	食事介助の仕方、形態、養士との連携方法	甲賀市役所	増田管理栄養士
12月24日	足腰の痛み予防、運動方法について	土山中央公民館	中井理学療法士
2月25日	誤嚥性肺炎予防のための食形態の工夫（トロミ茶づくり、お茶ゼリー試食）	土山中央公民館	増田管理栄養士

居宅介護支援事業所

1.概要

事業所の理念：地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します。

『自分らしい暮らし』の実現の為に、ご本人様のご意向に基づき居宅サービス計画を作成し、適切なサービス提供が確保されるよう支援しています。常にご本人様の『生活への不安』やご家族様の『介護への揺れる思い』に寄り添い、安心して頂ける関わりを心掛けています。

地域の医療機関や地域包括支援センター等と連携しながら介護支援を提供すると共に、継続的に研修に参加しケアマネジャーの資質向上に努めています。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	林 巳恵子	主任介護支援専門員 看護師
副所長	森 由紀雄	主任介護支援専門員 社会福祉士・視能訓練士

◆ 他スタッフ

介護支援専門員 2名
事務員 1名（兼務）

【2022年度を振り返って】

コロナ禍が続いており対面での情報共有が難しい状況でしたが、継続して関係各所と連携を行いました。併せて Web 開催を含めた研修会に積極的に参加し、ご本人様が安心して各種介護保険サービスを利用できるよう、ケアマネジャーの質の向上に努めました。

年度末には事業所が甲南病院内に移転し、今まで以上に病院内の各部署と連携しやすくなりました。ご本人様の在宅生活にお役立ちできると考えております。

3.活動実績

月別利用者数

2021年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	112	110	110	115	120	119	122	122	126	124	119	124	1,423
要介護 1-2	52	55	53	54	60	60	62	62	67	66	59	63	713
要介護 3-5	37	32	32	36	35	33	35	34	36	34	37	37	418
介護予防	23	23	25	25	25	26	25	26	23	24	23	24	292

2022年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	120	122	122	122	126	124	126	119	121	125	125	119	1,471
要介護 1-2	65	66	65	64	64	62	68	63	64	66	65	61	773
要介護 3-5	33	33	35	36	39	39	35	35	34	35	36	36	426
介護予防	22	23	22	22	23	23	23	21	23	24	24	22	272

5.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月15日	知っておきたい障害給付について	Web 開催	2名
4月30日 5月14日	令和4年度 滋賀県主任介護支援専門員研修 指導者養成研修（ファシリテーター編）	草津市	1名
5月16日	令和4年度 変わる指導・監査対応	Web 開催	1名
5月17日	令和4年度 運営指導に対応できる業務運用方法 居宅介護支援事業所向け運営指導編	Web 開催	1名
5月28日	令和4年度 総会記念講演会 「BCP 事業継続計画」	Web 開催	1名
6月02日～ 6月08日	医療安全研修会 「患者誤認による重大事故対策を中心に」	甲賀市	4名
6月15日	甲賀湖南ケアマネ連絡協議会 令和4年度第1回研修会	Web 開催	2名
6月17日	高齢者施設のパワーハラスメント対策	Web 開催	1名
6月22日	自然災害リスクの解説と防災現在のポイントセミナー	Web 開催	1名
6月23日	第23回 甲賀湖南うつ病・認知症・在宅医療等懇親会	甲賀市	1名
6月27日～ 6月30日	人権研修「事例から学ぶ医療現場におけるハラスメント対策」	甲賀市	4名
7月11日	令和4年度 退院支援ルール評価検討事業における病院と介護 支援専門員の連絡調整会議	Web 開催	1名
7月15日	令和4年度 医療福祉関係職員 権利擁護支援研修会	Web 開催	1名
7月20日	新型コロナウイルス感染症の対応	Web 開催	1名
7月22日	令和4年度 甲賀市自立支援ケアマネジメントに関する研修会	Web 開催	1名
8月04日	やってみよう多職種連携 気づいていますか口腔の問題	Web 開催	1名
8月27日	支援困難ケースのアセスメントとチーム連携を考える研修会	湖南市	1名
9月05日	令和4年度 滋賀県難病医療従事者研修会	Web 開催	4名
9月07日	感染対策研修会 「手指衛生の重要性」	甲賀市	4名
9月12日	腰痛を防ぐ介護 ノーリフティングケアの実践	甲賀市	1名
9月26日	BCP 策定研修 演習編	草津市	1名
10月18日	介護事業所における BCP の重要性	Web 開催	2名
10月21日	令和4年度第1回 甲賀湖南地域介護支援専門員研修会 甲賀甲南地域の自立支援とリハビリ、福祉用具利用の考え方	甲賀市	3名
10月26日	心不全勉強会 第1回目	Web 開催	3名
11月1日～ 11月5日	磨けコミュカ 医療安全のためのコミュニケーション	甲賀市	4名
11月10日	令和4年度 甲賀圏域高次脳機能障害 連絡調整会議研修会	Web 開催	1名
12月13日	令和4年度 住宅改修研修会	甲賀市	3名
1月25日	個人情報保護・守秘義務	Web 開催	4名
2月9日	うつ病等自宅に引きこもりがちな高齢者等の支援	甲賀市	1名
2月13日	令和4年度 入退院支援ルール評価検討事業における病院と介護 支援専門員の連絡調整会議	甲賀市	2名
2月22日	令和4年度 滋賀県難病医療ネットワーク研修会	Web 開催	3名
2月28日	冬を乗り越えよう！ ご高齢者の栄養管理	Web 開催	1名
3月22日	窓口手続き関係注意事項・適正化研修・各事業に関する説明等	甲賀市	1名

訪問看護ステーションこうなん

1.概要

『末永く在宅生活を続けられるように』をモットーにケアを提供しています。

様々な疾患や症状、認知症、要介護状態を抱えた方でも、住み慣れた自宅で安心して過ごすことができるように主治医をはじめ、ケアマネジャーなど他事業所と細やかに連携を図るよう努めています。

入院せずに済むように、また入院しても短期間で済むように症状悪化の早期発見に努めています。また、疾病の増悪や機能低下予防のための生活指導にも力を入れています。

利用者様、ご家族様の「住み慣れた自宅で最期を迎えたい、迎えさせてあげたい」という希望に寄り添い、その人らしい人生の最終段階を過ごせるよう支援しています。また、適切な時期に人生会議をスタートできるように取り組んでいます。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	清水 紀孝	看護師

◆ 他スタッフ

看護師 7名

事務員 1名

理学療法士 2名（病院と兼務）

◆ 他資格

訪問看護ステップ1修了 1名

3.活動実績

訪問回数（介護）	平均 295 件／月	利用者数	平均 95 名／月
訪問回数（医療）	平均 107 件／月	在宅看取り件数	22 件／年

【『厚生労働大臣が定める疾病等』にあたる訪問】

- *末期の悪性腫瘍 *パーキンソン病 *進行性筋ジストロフィー
- *人工呼吸器を使用している状態 *脊柱管狭窄症

【特別管理加算にあたる訪問】

- *尿道留置カテーテル ※留置カテーテル（胃ろう、腎ろう） *人工肛門 *人工膀胱
- *在宅酸素 *真皮を超える褥瘡の状態 *気管カニューレ *点滴 3 日以上

【2022 年度を振り返って】

訪問診療や病棟看護師等と連携し特に在宅看とりに力を入れた 1 年間でした。

年度末には事業所移転や職員の配置転換による新体制となりました。

4.実習生受入状況

期間	事業所名	人数
2022 年度	甲賀看護専門学校 学生臨地実習	5 名
	滋賀県看護協会訪問看護支援センター 訪問看護ステップ 1	1 名

5.学術・研修活動

◆ 出前健康講座

開催日	テーマ	開催地	講師
	今年度なし		

◆ 参加研修会

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月 1日～ 12月 18日	心不全療養指導士講習	Web 開催	1名
6月 22日～ 10月 31日	訪問看護の基礎講座「訪問看護研修ステップ1」	Web 開催	1名
7月 7日	精神科訪問看護現地実習	訪問看護ステーションさら	6名
8月 1日	安全運転管理者講習会	あいの土山文化ホール	1名
9月 24日	地域医療を考えるワークショップ	Web 開催	1名
10月 28～30日	精神科訪問看護基本研修	滋賀県看護研修センター	1名
11月 26日	日常ケアに活かせる創傷・ストーマ・失禁ケア	Web 開催	1名
2月 13日	甲賀圏域入退院支援ルール評価検討事業における病院と介護支援専門員の連絡調整会議全体会	Web 開催	1名

他、年間通して院内の研修に参加しています。

訪問リハビリテーション事業所

1.概要

退院後で在宅生活に不安がある方・寝たきり等になり自宅で動作練習が必要な方に対して、自宅に訪問リハビリテーションを提供させて頂いております。

主治医の指示の下、心身機能の維持・回復や日常生活での動作能力向上の為に、利用者さんに適した訓練プログラムやご家族への助言・指導等を行っております。また、必要に応じて福祉用具や住宅改修の検討やアドバイスなどを行い、利用者さんに合わせた動作方法の確認や動作指導を実施しております。

利用者さん・ご家族の『地域での暮らし』が永続的に送れるよう、入院担当のリハビリテーションスタッフと連携を図り、退院後も継続したリハビリテーションを提供できるよう努めています。利用者さんの個性を尊重し、『暮らし』がより良い生活となるように「支援」しております。

また地域におけるリハビリの一翼を担うと共に、ケアマネジャーや他職種の方と積極的に連携を図り、利用者さんやご家族に満足して頂けるようスタッフ一同努力しております。

2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	古倉 みのり	医師
副所長	村地 健太	理学療法士

◆ 他スタッフ

理学療法士 6名

作業療法士 1名

3.診療実績

訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	526	495	573	529	434	467	435	429	432	405	403	459	5,587
予防	133	131	139	140	145	124	129	142	156	144	150	163	1,696
医療	37	29	39	29	56	43	37	34	40	25	29	56	454

総合計 7,737件 (2021年度 8,514件)

総利用者数 181名 (2021年度 194名)

4.学術・研修活動

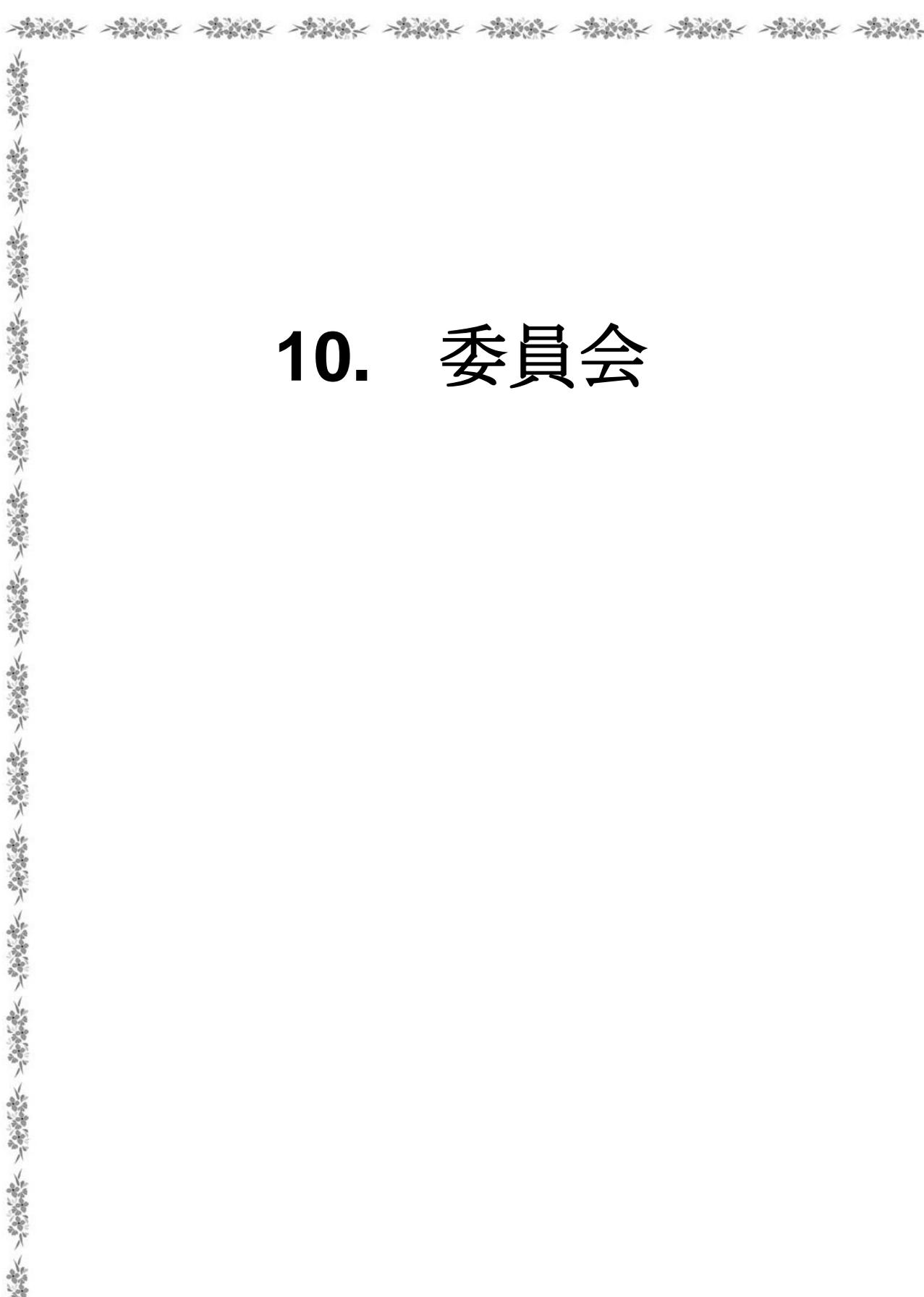
1) 学会発表・研修会発表・講師

開催日	研修会	開催地	発表者
1月27日	滋賀県 POS 連絡協議会 東近江・甲賀ブロック共同人材育成事業事例検討会	Web 開催	村地

2) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
7月17日	第37回滋賀県理学療法学会	ピアザ淡海	1名
9月3日	循環器コース『心臓リハビリ』	Web 開催	2名
10月23日	令和4年度滋賀県 POS 連絡協議会 アドバンス研修会	Web 開催	1名
11月4日	滋賀県 POS 連絡協議会 大津・湖西ブロック共同人材育成事業事例検討会	Web 開催	1名
11月14日	甲賀市高齢者虐待防止研修	甲賀市役所	1名

11月18日	滋賀県 POS 連絡協議会 湖南ブロック研修会	Web 開催	1名
12月14日	滋賀県 POS 連絡協議会 湖南・湖東・湖北ブロック共同人材育成事業事例検討会	Web 開催	1名
2月8日	甲賀市地域リハビリテーション人材育成研修 フォローアップ研修	Web 開催	1名
2月15日	地域リハビリテーション人材育成研修会 リーダーセミナー研修 第1回：「人を育てる」ということ	Web 開催	1名
2月16日	2022年度甲賀ブロック症例検討会	Web 開催	1名
2月27日	目標設定が変われば活動が変わる 高齢者の『できる』を支援するために	Web 開催	2名
2月28日	地域リハビリテーション人材育成研修会 リーダーセミナー研修 第2回：パワーハラスメントのラインとは	Web 開催	1名
3月18日	地域リハビリテーション人材育成研修会 リーダーセミナー研修 第3回：キャリアプランを考えるために	滋賀県立 総合病院	1名

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs in a light gray color, framing the central text.

10. 委員会

医療安全委員会

委員長名	田中 豊彦
目的	<p>安全な医療の提供を行うため、重大な医療事故を未然に防止し、医療の質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント報告提出の推進（995件以上/年） ・インシデント報告から、原因究明と再発防止対策の検討、評価を行い医療事故の防止に努める ・マニュアルの見直し（医療安全管理指針、規定、事故発生時の手順など） ・医療安全に関する情報の発信、周知活動
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理者委員会（1回/月） <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの見直し、改訂 ・アクシデントの分析（RCA分析）、再発防止策の検討 ・手術時のガーゼカウントのついてマニュアル更新 ・検査前の同意書の確認、検査出しの方法についての検討 ・針刺し事故防止対策として、皮下輸液の手順について再周知 ・医療安全管理対策委員会へ名称変更 ・医療安全標語の募集、復唱 ・マニュアルの電子化 2. 医療安全委員会（1回/月、回覧会議1回含む） <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント、アクシデントレポート集計報告（毎月） ・各部署の報告（インシデント・アクシデント）の原因分析・再発防止対策の検討 ・職員研修の企画・実施と出席率UPのための工夫と対策 ・医療安全標語の復唱 ・針刺し事故の原因分析・再発防止策の検討、職員への周知 ・リスクマネジメント委員会へ名称変更 ・酸素吸入時の手順について、付け忘れ防止の対策、マニュアル更新 ・左右間違い防止対策で手術申し送り用紙の変更 3. 転倒転落ワーキング（8回/年） <ul style="list-style-type: none"> ・離床センサー、コールマットの研修会（1回/年） ・転倒転落患者のラウンドチェック表の作成、実施 ・センサー類OFF防止のためのラウンド実施（毎月） ・転倒を繰り返す患者にピンクシールで注意喚起 4. 薬剤ワーキング（1回/月） <ul style="list-style-type: none"> ・配合変化の起こりやすい薬品の見直し ・点滴未開通防止「開通しましたか」札の活用 ・控え処方箋のペーパーレス化 5. 医療機器ワーキング（1回/年） <ul style="list-style-type: none"> ・輸液ポンプの予定量と流量の設定間違いの対策について 6. 医療安全ラウンド（リスクマネージャー：9回/年） 7. 医療安全研修会の開催（2回/年、新入職者対象1回） 8. 医療安全ニュースの発行（11回/年） 9. 医療安全推進週間ポスター掲示（11月） 10. 他からの医療安全情報の周知活動と情報共有（毎月） 11. 医療安全対策地域連携相互チェック（3回/年） <ul style="list-style-type: none"> テーマ：「医療安全について情報共有したい自施設の取り組み」 「医療安全推進に関わる自施設の課題、困っていること」 <p><研修会などの実績></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入職員研修 <ul style="list-style-type: none"> 院内研修 4月4日 内容 「医療安全の基本的な考え方」 講師 藪下 初代（医療安全管理者）

	<p>参加 16名 院内研修 4月5日 内容 「曝露事故について」 講師 藪下 初代（医療安全管理者） 参加 16名</p>
2.	<p>第1回医療安全研修会 院内研修 6月2日、6月6日、6月7日、6月8日 内容 「医療安全～患者誤認による重大事故対策を中心に～」 学研ナーシングサポート 参加 340名 参加率 99.4%</p>
3.	<p>第2回医療安全研修会 院内研修 11月1日、11月2日、11月4日、11月5日 内容 「磨け、コミュカ！医療安全のためのコミュニケーション」 学研ナーシングサポート 参加 329名 参加率 96.8%</p>
4.	<p>KYT研修 17部署</p>

医療ガス安全管理委員会

委員長名	岡崎 哲也
目 的	医療ガスの安全使用と適切な運用を図り、患者さんの安全を確保し良質な医療提供を目的に組織されています。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 医療ガス安全管理委員会の開催2. 院内での高圧ガス安全講習会の開催 11月12日<ol style="list-style-type: none">1) 医療ガスの種類2) 医療ガスの表示色3) 酸素ガスボンベの種類4) ガス別バルブ形状5) ガス発注に関する注意3. 適正利用のための保管管理4. 使用量の管理5. 医療ガス設備の保守・管理6. 外部にて開催される高圧ガス保安講習会への参加

医療情報システム委員会

委員長名	神谷 純広
目 的	当院における医療情報システムを適切に運営するため分析・処理・運用・管理を行い、職員に対する指示・教育・啓発などを行う。
活動実績	院内ネットワークアクセスポイントファームウェアアップデート

医療の質業務改善委員会

委員長名	瀬川 秀和
目的	仁生会 甲南病院における環境が患者さんにとって安心・安全・安楽な環境であるよう検討し改善を提言することを目的とする。また院内に関する諸問題を適宜協議し、各部門と連携を取りそれを周知徹底することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外来患者満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月5日～12月10日（午前診・午後診）に外来患者さんを対象にアンケート調査実施 ・ 結果集計後、グラフ化を行い外来フロアへ掲示 ・ 改善点を確認し、業務改善を行った ・ 今年度よりQRコードを用いてスマートフォン等で回答するICT化を実施 2. 入院患者満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月10日時点の入院患者さんを対象にアンケート調査を実施 ・ 結果集計後、グラフ化を行い病棟へ掲示 ・ 改善点を確認し、業務改善を行った 3. 外来診療待ち時間調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月6日～6月11日時点の入院患者さんを対象を実施 ・ 結果集計後、待ち時間短縮の取り組みを行った 4. こころの声ポスト <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者さんご家族の意見や要望を院内5カ所に「こころの声ポスト」を設置 ・ 事務部職員により、ほぼ毎日回収し、該当部署にて対応策を検討し病院幹部職員へ報告を継続している 5. 臨床評価指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本病院会のQIプロジェクトに参加し、クリニカルインディケータの質向上を図った

衛生委員会

委員長名	岡崎 哲也
目 的	<p>本委員会は甲南病院で働く職員の労働環境に関して、労働安全衛生法をもとに労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。</p> <p>委員会は次の各号に掲げる事項を所掌する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場における職員の安全と健康の確保 ・ 快適な作業環境の形成 ・ 健康管理事業の適正運営の確保 ・ 危険防止の為の基本的対策 ・ 労働災害の原因、再発防止対策 ・ 上記活動を行う為に、院内調査及び指導を行う
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各部署の衛生管理、定期巡回 2. 職員 B 型肝炎ワクチン接種啓発 3. 職員健診、特定保健指導対象者への受診通知 4. 交通安全に関する DVD 研修受講推進 10 月 11 日～15 日 5. 職場づくりアンケートの実施、分析 6. 業務事故、通勤事故における原因と再発防止対策 7. 事故報告書様式変更 8. 腰痛防止対策配信 9. 院内研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場腰痛予防研修 <p>開催日（講習会） 10 月 25 日 8 名 10 月 27 日 4 名 DVD 研修 11 月 14 日 81 名 11 月 15 日 19 名 11 月 16 日 14 名 計 126 名参加。</p>

感染対策委員会

委員長名	西 崇男
目 的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを随時改訂し、変化に対応した感染防止対策の実施 2. 感染管理認定看護師の育成と各種感染環境改善の検討・実施
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定例会議の開催（12回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症及び耐性菌の発生状況、抗菌薬使用状況と適正使用評価、医療関連感染の発生状況の症例報告と分析検討、ICT・AST活動を報告、新型コロナウイルス対策本部会議の報告と取り決め内容の報告と周知事項の発信を行った ・ 以下のマニュアル等を策定・改訂した <ul style="list-style-type: none"> ➤ メンバー表と連絡網等の更新（4月） ➤ 血管内留置カテーテルの感染管理一部追記（4月） ➤ 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル改訂 入院患者に陽性者が発生した場合の対応作成（9月） 新型コロナウイルス陽性者、濃厚接触者の逝去時の対応（1月） ➤ 結核対策マニュアル一部改訂 入院患者結核菌フローチャート改訂 外来患者結核菌フローチャート作成 結核患者発生時の接触者検診フローチャート改訂 ➤ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策副委員長の交代 廣瀬看護部長 → 長野 ICN（4月） ・ 2022年度感染性廃棄物処理計画書 承認（4月） ・ 医療関連感染判定基準マニュアルの導入（4月） ・ AST（抗菌薬適正使用支援チーム）の発足（4月） ・ 医療関連感染サーベイランスと対策・指導（通年） ・ アウトブレイク監視と分析・対策の指導周知（通年） ・ 厚労省令和4年度院内感染対策講習会受講（長野） ・ 中心静脈ライン長期留置患者の交換時期の検討（5月） ・ 第1回感染対策研修会開催 「手指衛生の重要性について」（9/5.7.8.14.17） 参加 360名 参加率 96.7% 追加で動画視聴研修を実施し、出席率 100%を達成 ・ 酸素マスク・カニューラの定期交換の検討（9月） ・ JANIS、JHAIS への参加（9月） ・ 常在菌の薬剤感受性検査の一部中止について（9月） ・ 感染対策向上加算3へ変更（11月） ・ インフルエンザ予防接種について（11月） ・ ひまわり保育園でノロウイルス集団発生（1月） ・ インフルエンザ流行期に入り、発熱者のインフルエンザ検査開始 ・ 第2回感染対策研修会開催「インフルエンザとノロウイルスについて」（2/2.4.6.8）参加 358名 参加率 95.5% 追加で動画視聴研修を実施し 100%達成 2. ICT活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT共同カンファレンスに4回参加（6月・9月・12月・3月） ・ BSI防止ラウンドの導入（6月） ・ 手指衛生遵守率向上シートの導入（8月） ・ 血管内カテーテル刺入部のドレッシング材の変更（10月） ・ 中心静脈ライン挿入時と刺入部の消毒薬の変更（3月） 3. AST活動（2022年度4月発足） <ul style="list-style-type: none"> ・ 培養提出率の対象患者の選定（6月）

- ・広域抗菌薬・抗MRSA薬投与前の細菌培養提出率の調査（通年）
- ・血液培養2セット採取率の調査（通年）
- ・薬剤感受性セットの見直し（6月）
- ・血培2セット陽性一致率の調査（9月）

4. 新型コロナウイルス対策本部会議開催（定例会議14回、臨時会議6回）

- ・コロナ罹患歴のある療養期間終了後の入院依頼の取り決めの変更
- ・濃厚接触者の取り扱いの変更について
- ・抗がん剤治療をしている患者のワクチン接種について
- ・職員のコロナ罹患・濃厚接触者になった場合の就業制限について
- ・中和抗体の登録について
- ・5/9～5/21 2A病棟クラスター報告
- ・職員家族子供の唾液のPCR検査について
- ・滋賀県警戒レベル1→コロナ対策の一部緩和
- ・7/19～8/5 3A病棟クラスター報告
- ・発熱外来枠の拡充
- ・抗原定量試薬の欠品に伴い抗原定性キットの導入
抗原定性キットを発熱外来と職員の子供に使用
- ・療養期間短縮に伴う、当院での対応の一部変更
- ・コロナ罹患後から手術、抗がん剤治療の開始時期について
- ・発熱外来の業務効率化に向けた手順変更
- ・職員のコロナ罹患後の濃厚接触者にあたる期間
- ・11/21～12/1 2C病棟クラスター報告
- ・11/29～12/9 2B病棟クラスター報告
- ・12/17～12/24 2A病棟クラスター報告
- ・12/27～1/10 3A病棟クラスター報告

5. 研修実績

院内研修 2022年度新人研修

日時：4月2日
講師：長野建太郎
内容：「感染対策の基礎」
参加：19名

院内研修 2022年度新人研修

日時：4月6日
講師：長野建太郎
内容：「看護実践における感染対策のポイント」
参加：19名

院内研修

日時：9月5・7・8・14・17日 各日6回開催
場所：当院会議室
内容：手指衛生の重要性について
講師：長野 建太郎
参加：計360名 参加率 100%

院内研修

日時：2月2・4・6・8日 各日6回開催
場所：当院会議室
内容：インフルエンザとノロウイルスについて
講師：長野 建太郎
合計：358人 参加率 100%

	<p>院外研修</p> <p>日時：1月21日</p> <p>内容：令和4年度院内感染対策講習会（WEB研修）</p> <p>主催：日本環境感染学会（厚生労働省委託事業）</p> <p>参加：長野建太郎</p> <p>出前講座</p> <p>日時：3月2日</p> <p>内容：感染対策の基本（高齢者施設での感染対策の重要性、標準予防策について） 新型コロナウイルス感染対策について</p> <p>参加：グループホームそまの夢 ケアワーカー 10名</p>
--	--

研修委員会

委員長名	田中 豊彦
目的	良質な医療・看護を提供するために、全職員を対象とした教育・研修を実施することで職員の資質向上をはかり、地域医療に貢献することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 定例委員会を2ヶ月に1回開催 合計6回開催<ul style="list-style-type: none">・研修会の振り返り・参加者の集計・研修会のアンケート集計と意見の検討・予定研修会の内容確認2. 申請された研修会の補助<ul style="list-style-type: none">・研修会の案内・会場準備・参加者アンケート集計

広報委員会

委員長名	小崎 一雄
目的	地域の皆様に役立つ情報を発信し、甲南病院の魅力を広報する。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 広報誌「きらめき」発行 ※地域住民向け 4月、7月、10月、1月発行 A4サイズ 8ページ 病院行事の案内、報告、職員や医師の紹介、特殊外来や検査の紹介、 季節ごとのひとくちメモ、リハビリ体操、 心理士だより、季節のレシピ等をシリーズ化して掲載2. 「甲南病院だより」発行 ※関連医療機関、施設向け A4サイズ 1ページ 裏面に外来担当医表を掲載 6月、3月発行 病院の行事、休診情報、外来担当医表、部署紹介等を掲載3. 毎月1回委員会を開催 4月、7月、10月、1月 広報誌「きらめき」発送作業と次回記事の検討 5月、6月、8月、11月、2月、3月 「甲南病院だより」発送作業と記事チェック

褥瘡対策委員会

委員長名	神谷 純広
目 的	<ul style="list-style-type: none">・患者さんの入院中の環境を整え褥瘡発生の予防や再発防止に努める。・院内の褥瘡対策方法を検討・立案し、褥瘡治療に関する知識・技術の向上に努める。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 褥瘡回診の実施 毎月第2・4の木曜日（各病棟1回/月）2. 褥瘡対策委員会の開催 毎月最終週の金曜日3. 院内研修会 開催日：12/5・6・7 テーマ：スキンケア（皮膚裂傷）の管理/スミスアンドネフュー4. 褥瘡に関するデータ（院内発生率、治癒率）集約5. 創傷管理に関連した衛生材料、創傷被覆材、栄養補助食品など褥瘡対策備品の検討

診療記録管理委員会

委員長名	川浪 二郎
目的	適切な診療録を管理・活用するため、診療録の質と量の点検・監査を行う。
活動実績	委員会開催日 ・毎月最終月曜日 16 時～ 1. 達成率報告 (Dr サマリー・Ns サマリー) 2. 収入報告 (診療録管理体制加算・データ提出加算) 3. 量的監査・質的点検について 4. 新規文書書類の承認 5. 年 2 回診療録の監査 6. 年 4 回コーディング委員会開催 (疾病名・薬剤について/薬剤部参加)

パートナーシップ倫理委員会

委員長名	馬場 真奈美
目 的	患者さんの権利と安全確保について検討し改善を提言することを目的とする。また院内に関する倫理問題を適宜協議し、各部門の連携を取りそれを周知徹底することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4月職員手帳の配布を終了 2. 8月「設置規定」、「人生の最終段階における医療を遂行するためのアドバースケアプランニング（ACP）の取り決め」マニュアルの改訂 3. 9月「当院における人生の最終段階における医療ガイドライン」の見直し 4. 9月以下3つの審査依頼についてフローチャート作成 <ol style="list-style-type: none"> ①臨床倫理コンサルテーション会議審査依頼（宗教的輸血拒否に関する病院の審査、倫理問題に関する病院の審査、臨床研究・医薬品・医療機器・治験に関する審査） ②研究および演題投稿時の倫理的配慮の審査依頼 ③臨床研究における倫理審査委員会の審査依頼 5. 職員研修会（実施期間 6/1～6/20） DVD視聴「エンドオブライフにある人々と家族とのコミュニケーション」について 6. 倫理問題検討会 補助レベルの意思確認のついて倫理的問題を考える 地域医療連携室 長期入院中の介護認定について（介護認定更新の必要がない入院患者さん・ご家族への案内について） 地域医療連携室 7. 臨床倫理コンサルテーション会議 0件 8. 研究・演題投稿時の倫理審査 16件 9. 臨床研究倫理審査委員会 4件 10. 会議（月1回）

防災委員会

委員長名	岡崎 哲也
目的	病院の防災対策を検討、周知する目的で組織。主に防火対策や大規模災害を想定しての準備及びマニュアルの整備を進める。また、患者さんの医療確保、医療の継続を中心に体制整備を構築する。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急連絡網の整備と訓練 2. 危機管理委員会マニュアル、防災マニュアル、夜間休日の緊急時対応マニュアル、停電マニュアル、大規模災害マニュアル、火災時手順、自衛消防隊等の整備 これらの共通マニュアル保存の管理 3. 火災総合訓練の実施 4. 消防設備の点検と改修管理 5. 非常時対応の備蓄品管理 6. 非常時電源（自家発電装置、蓄電池）の管理 7. 火災訓練・消防設備の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・甲南病院・ひまわり保育園にて実施 ・在宅医療支援センターこうなんでは、消火器などの備品の確認及び消火活動、避難行動の基本を指導 8. 防災委員会開催 9. 大規模災害訓練開催（今年度はコロナの為延期） 10. 水害土砂災害避難確保計画作成および訓練

薬事委員会

委員長名	川浪 二郎
目 的	医薬品の適正な管理運用を図るため、医薬品の新規院内採用や院内採用中止、有効性や安全性について審議、評価する。また後発医薬品の使用を促進することで、患者さんの医療費負担や医療保険財政の軽減を図る。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開催日（原則、月に1度開催する） 4月23日、5月28日、6月24日、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日、12月3日、12月24日、2月3日、2月25日、3月27日 2. 採用・中止医薬品 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規院内採用医薬品：53品目 ・ 院内採用中止医薬品：71品目 3. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の添付文書改訂に伴う注意喚起等の情報発信 ・ 供給困難医薬品について ・ 使用期限の近い医薬品の案内と処方提案 ・ 同成分・同効薬医薬品の院内採用の見直し ・ 後発医薬品使用量報告、院内採用と使用の促進・啓発 ・ 医薬品の自主回収連絡の周知と回収 ・ 院内・院外処方箋発行率の報告

輸血療法委員会

委員長名	瀬川 秀和
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・輸血療法が適正に行われるように管理し、供給体制を整える。 ・輸血、血液製剤に関する情報を職員に提供し周知する。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定例委員会 2ヶ月に1回（年6回）開催し、下記内容について、報告・検討・協議 <ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤、特定生物由来製品の使用数報告（2022年度） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 赤血球製剤 1032単位 整形外科 192単位、外科 128単位、循環器科 36単位、心臓血管外科 6単位、透析科 470単位、内科 200単位 ➢ FFP製剤 108単位 整形外科 58単位、外科 50単位 ➢ 血小板製剤 90単位 整形外科 80単位、内科 10単位 ➢ アルブミン製剤 1308.3単位 整形外科 300単位、外科 362.5単位、循環器科 62.5単位、心臓血管外科 100単位、透析科 420.8単位、内科 62.5単位 FFP/RBC 比=0.10 ALB/RBC 比=1.27 ➢ 製剤廃棄率 RBC : 1.2%、FFP : 0.0%、PC : 0.0% <ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤、特定生物由来製品の適正使用評価 ・副作用報告 ・血液製剤在庫情報 ・輸血関連業務 2. 赤血球製剤・アルブミン製剤使用数報告及びアルブミン製剤適正使用の推進 3. 血液製剤院内在庫のインフォメーション 4. 輸血情報の院内インフォメーション 5. 自己血マニュアルの見直し、改訂 6. 10月 滋賀県輸血療法委員会 令和3年度血液製剤使用量等アンケート調査回答 7. 11月 厚労省委託事業 令和4年度血液製剤使用実態調査回答 8. 研修会実績 <ul style="list-style-type: none"> 2022年5月 院内新人研修会 対象：看護部新入職員 内容：輸血検査について 輸血副作用について、輸血セット取り扱い実技 講師：血液センター学術担当、臨床検査部、看護部 2023年3月 滋賀県輸血療法委員会 血液製剤適正使用研修会参加

臨床検査適正化委員会

委員長名	神谷 純広
目 的	<p>臨床検査が適正に行われ、また、臨床検査部の運営が健全に行われるよう、以下の内容について協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査の適正化に関する事 2. 精度管理調査に関する事 3. 調査研究に関する事 4. 臨床検査項目の導入及び廃止に関する事 5. 臨床検査部の運営に関する事
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 隔月第3木曜日に委員会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月 尿分析装置更新 ・ 8月 JANIS に登録、9月分より細菌データ送信開始 ・ 9月 常在菌の薬剤感受性検査中止 ・ 10月 細菌薬剤感受性検査のセット変更 ・ 12月 ホルターECG 装置更新 (FM-1400) ・ 1月 異常値報告基準一覧を修正。透析異常値報告基準を作成。 ・ 3月 エコー装置 1台更新 (PHILIPS Affinity70) 2. 装置保守は毎日・週1回・月1回・3ヶ月毎にそれぞれ実施し、内部精度管理は毎日2種類の管理血清で実施 3. 外部精度管理は、6月に日本臨床検査技師会精度管理調査、8月に滋賀県精度管理調査に参加し、どちらも概ね高評価を得た

NST（栄養サポート）委員会

委員長名	馬場 真奈美
目的	すべての患者さんが健全な栄養状態を保てるように適正な栄養摂取をサポートする。
活動実績	1. 病棟栄養カンファレンス（隔週） 2. NST 会議（月 1 回） 3. 嚥下造影検査年間検査数 16 件 4. 病棟 NST 回診 月 1 回 5. NST 勉強会（オンライン）

認知症サポート委員会

委員長名	馬場 真奈美
目的	<ol style="list-style-type: none">1. 認知症患者さんの認知機能や生活能力に合わせた援助を行い、認知症患者さんがその人らしく施設や地域で生涯を全うできるように QOL を支援する。2. 地域から入院、入院から地域への情報収集の方法・記録の見直しを行い情報共有の流れを一元化する。3. 事例を通して個別的な支援方法を検討し情報の共有と協働をすすめる。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 会議（月 1 回） 会議にて病棟患者さんの症例検討会を毎回行った

個人情報・プライバシー委員会

委員長名	神谷 純広
目的	患者及び職員の個人情報、プライバシーの保護を目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none">1. 院内研修会の実施 ～身につけておきたい医療現場の個人情報と情報リテラシー～ 学研ナーシングサポートを用いて個人受講2. 院内掲示「当院における患者様の個人情報の利用目的」の内容変更。3. 個人情報保護法（2022年4月施行）改正に伴い個人情報保護規定の見直し。